



Corporate Social Responsibility Report

CSR 報告書 2019



トナミホールディングス株式会社

経営理念

「和」の経営理念を実践し、経営基本方針に基づいて
「企業の社会的責任（CSR）」を果たしていきます。

トナミホールディングスグループは、お客様に「安全・確実・迅速なサービス」を提供することを通して事業の発展をはかり、株主の皆様へ「適正で安定した配当」を継続することを経営の基本方針としています。この方針に基づいて、収益性を確保し、常に企業価値の向上に努め、その成果を株主の皆様、お客様、取引先、社員、社会と適正に分かち合うことが、トナミホールディングスグループの使命であると考えています。

編集方針

- この報告書は、2018年度を中心としてトナミホールディングスグループが行ったCSR活動を紹介しています。
- 構成にあたっては「GRIサステナビリティ・レポーティング・スタンダード」を参考にしていきます。

対象期間

2018年4月1日～2019年3月31日（一部対象期間外の活動も含みます。）

対象範囲

トナミホールディングスグループすべての事業会社の活動実績を対象としています。

会社概要

（2019年11月30日現在）

商 号 トナミホールディングス株式会社

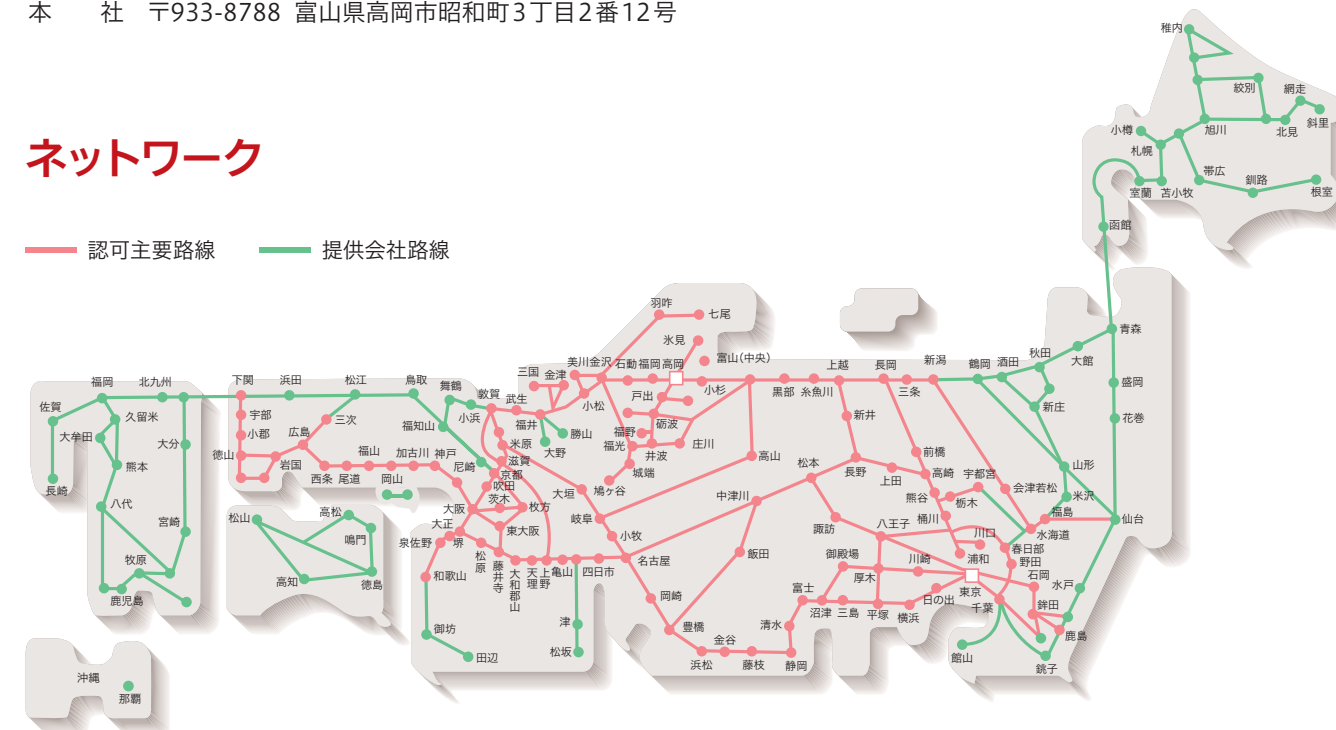
設 立 1943年6月1日

資 本 金 14,182百万円

本 社 〒933-8788 富山県高岡市昭和町3丁目2番12号

ネットワーク

認可主要路線 提供会社路線



CONTENTS

経営理念	1	トナミホールディングスのCSR重要課題	15
会社概要・ネットワーク	2	安全	
トップメッセージ	3	輸送の安全確保	17
財務ハイライト	5	物流品質向上	20
非財務ハイライト	6		
		環境	
事業概要		環境マネジメント	21
特別積合せ貨物運送事業	7	地球温暖化防止・大気汚染防止	23
ロジスティクスサポート事業	8	リサイクルの推進	26
引越事業	9		
国内航空事業	10	社会	
通運事業	10	地域社会とのコミュニケーション	27
3PL（サードパーティロジスティクス）事業	11	働きやすい職場づくり	33
国際物流事業	12		
情報処理事業	13	ガバナンス	
物品販売事業	13	役員紹介	35
車両整備事業	14	コーポレートガバナンス	35
環境関連事業	14	コンプライアンスの推進	37



トナミホールディングスグループは
持続的な成長のもと
質の高い物流サービスの提供を通じて
社会に貢献してまいります。

トナミホールディングス株式会社
代表取締役社長

綿貫 勝介



事業戦略とCSR経営

物流業界においては、労働力人口の減少による人材不足は年々厳しさを増しております。魅力ある労働環境、ワークライフバランスを実現するための働き方改革の推進に加え、従来の業務上発生していた無理・ムダを洗い出し、最新のIoT技術の支援のもとで業務プロセスの再構築などの生産性向上を図ることが、物流事業の社会インフラとしての発展と存続には不可欠であると認識しております。

そのような中、当社グループは2020年度を最終年度とする第21次中期経営3ヵ年計画において、「持続的な成長企業への進化!! Try&Growth“2020”」をコーポレートスローガンに掲げ、「働き方改革」を経営の中心に据えて、「事業戦略とCSR経営」の一体的な取り組みを推進しております。

物流に求められる役割機能も変化している中で、「持続可能な開発目標」として、拠点整備に向けた投資、人材の採用・定着・育成などの重点戦略の進展により事業収益の拡大と安定事業基盤を確立し、持続的な成長をめざしてまいります。

その実現のためにも、企業理念・企業ビジョンに掲げた基本精神は遵守しつつ、当社グループの環境活動も事業活動と一体となって取り組むことが、継続的な活動を促し、社会から必要とされる企業として持続的な成長につながると考えております。

コーポレートガバナンスの強化

当社グループは、「安心・安全・安定」した物流サービスの提供を基本として、働きやすい職場環境の整備やITを最大限に活用した提案力の強化に取り組み、ライフラインの一翼を担う物流サービス機能の向上を図り、社会の期待に応えてまいります。

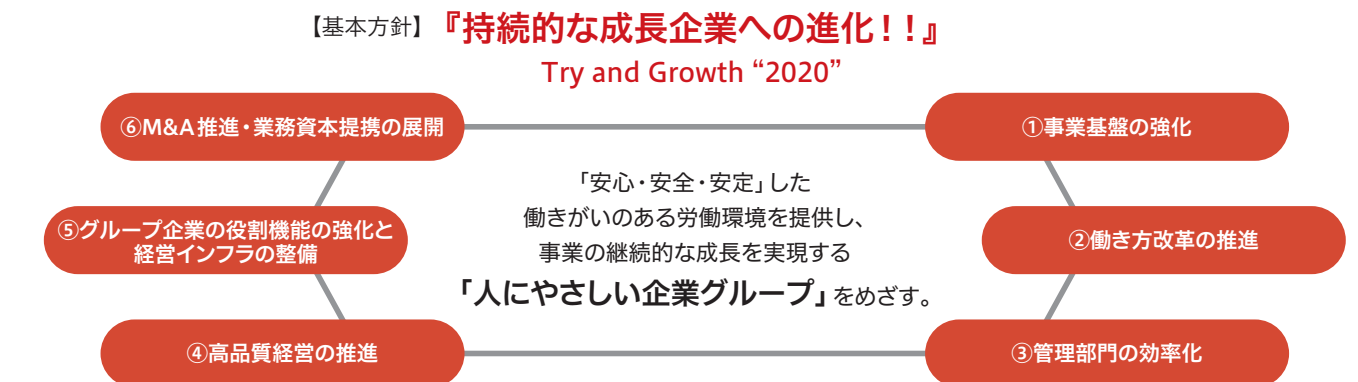
トナミグループ社員行動規範に則り、「事業活動のあらゆる局面におけるコンプライアンスの徹底」を行動原則として、物流事業の一層の価値創造とCSRを果たす経営に邁進してまいります。

また、「輸送の安全を確保すること」、「地球環境に配慮すること」、「法令やルールを守ること」、「人権を尊重すること」、「地域社会に貢献すること」は、ESGに取り組む物流企業と

して欠くことのできないものであり、コーポレートガバナンスのさらなる強化により、一層の社会的価値を創造してまいります。

このような当社グループのCSR活動に多少なりともご理解をいただき、今後ともみなさまから忌憚りの無いご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

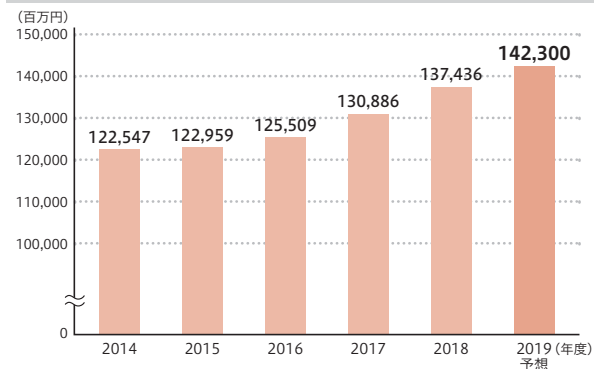
■第21次中期経営3ヵ年計画(2018～2020年度)



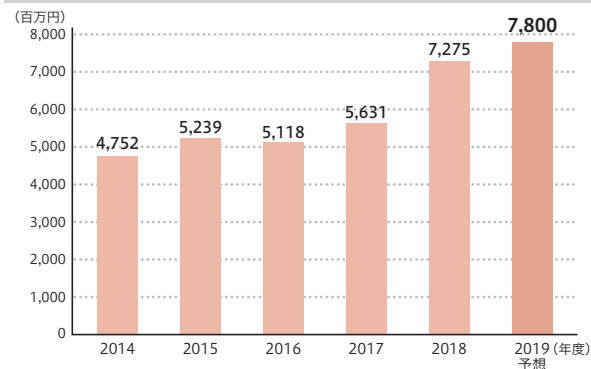
『安定成長企業へと進化する3ヵ年』と位置付け、各事業分野における実績とノウハウに裏付けられた質の高いサービスを提供し、『お客様・株主・社員・社会(地域)』からも信頼を得られるよう、一層の企業価値向上と持続的な成長の実現に努めてまいります。

財務ハイライト

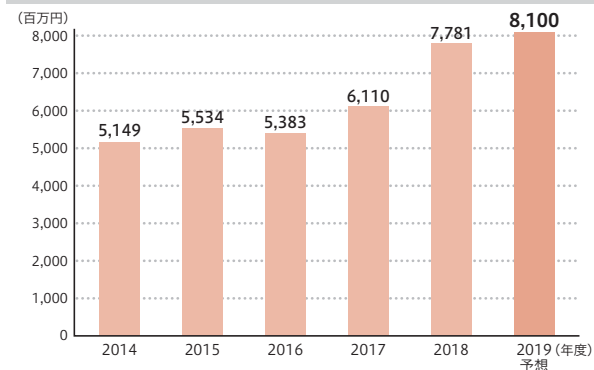
連結営業収益



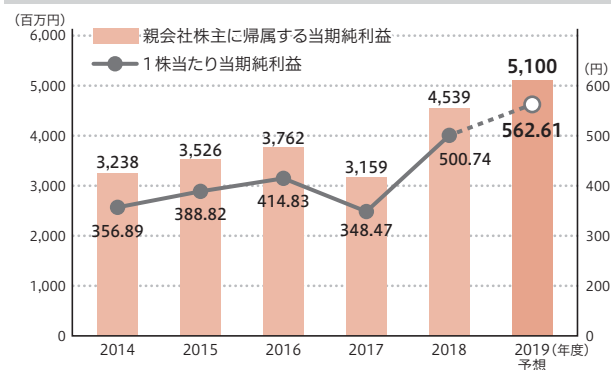
連結営業利益



連結経常利益

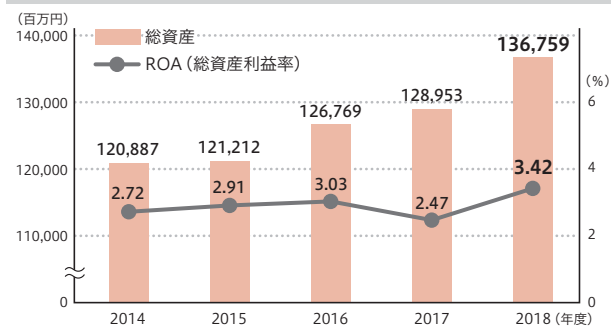


親会社株主に帰属する当期純利益



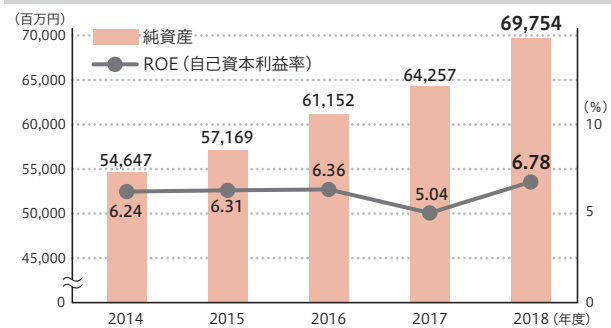
※2017年10月1日付で普通株式10株を1株の割合で併合したため、1株当たり情報は当該株式併合を仮定した金額を記載しています。

総資産/ROA(総資産利益率)



※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)などを当連結会計年度の期首から適用しており、前連結会計年度に係る総資産については、当該会計基準を遡って適用した後の数値となっております。

純資産/ROE(自己資本利益率)

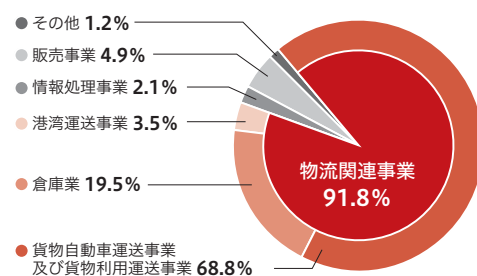


事業別連結営業収益

事業別	金額(百万円)	構成比(%)	前期比増減率(%)
物流関連事業	(126,211)	(91.8)	(4.5)
貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業	94,602	68.8	4.2
倉庫業	26,792	19.5	8.5
港湾運送事業	4,816	3.5	△7.9
情報処理事業	(2,836)	(2.1)	(6.1)
販売事業	(6,723)	(4.9)	(14.8)
その他	(1,665)	(1.2)	(3.8)
合 計	137,436	100.0	5.0

(注) その他欄には、自動車修理業、その他事業の各収入を含めて表示しています。

事業別連結営業収益構成比



非財務ハイライト

安全

Gマーク取得事業所数



101事業所

※トナミホールディングスグループ

ドライブレコーダー設置台数

3,499台

※トナミホールディングスグループ

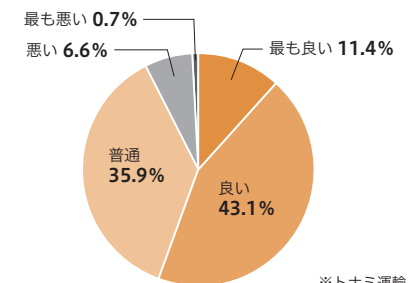
あんぜん号受診者人数

2,306名

※トナミホールディングスグループ

お客様アンケート結果

トナミ運輸の総合評価



※トナミ運輸

環境

CO₂排出量

100,765 t

※トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国

使用済みタイヤリサイクル率

70.5%

※トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国

「トナミの森」苗木植樹本数

340本

※植樹・補植含む



電気リフト導入台数

827台

※トナミホールディングスグループ



社会

障がい者雇用率

2.31%

※トナミ運輸



清掃活動参加人数

1,348名

※トナミホールディングスグループ



遠隔診断受診者数

219名 (2018年6月～)

※トナミホールディングスグループ



ランドセル寄贈個数

178個

※トナミ運輸



ガバナンス

取締役会の構成

社内取締役 7名
代表取締役社長 1名
専務取締役 2名
取締役 4名

社外取締役
2名

監査役会の構成

社内監査役 2名

社外監査役
2名

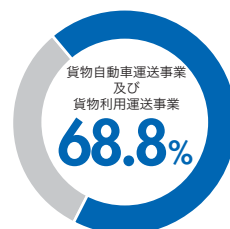
コンプライアンス

教育受講率

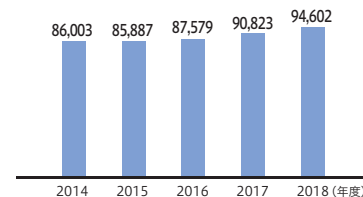
97.5%

※トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国

貨物自動車運送事業及び 貨物利用運送事業



連結営業収益 (百万円)



貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業

特別積合せ貨物運送事業



日本国内外に広がる 物流ネットワークを駆使して、 価値ある速さを実現します

本州に点在する流通センターと日本国内外に広がる物流ネットワークを駆使し、物流拠点の点と線を効率的に結びます。高速道路網を使った大量輸送から多頻度小口配送までお客様のニーズに迅速に対応します。

トナミ特急便

ユーザビリティに徹したサービスでスピーディーに正確に、大切な荷物を運びます。

サイズの大小に関わらず、お客様の大切な荷物を全国どこにでも。また、医薬品や美術品、OA機器などの特殊輸送も確実に。高速ネットワークを使って円滑にお届けします。運ぶのは大切な荷物、そして真心と信頼です。



パンサー宅配便

おくる人とおくれる人の思いをFace to Faceで運びます。

どんなお荷物でもお客様の心がこめられているように、ひとつひとつのお荷物を誠意を持ってお届けしています。全国に広がるトナミのネットワークがおくる人とおくれる人の気持ちをつなぎ、心豊かな暮らしをお手伝いしています。



トナミチャーター便

国内拠点を連携する物流情報ネットワークで効率的な貸切便を提供します。

大量幹線輸送から近距離配送まであらゆる物流シーンに活用して頂けるサービスです。



JITBOX チャーター便

BOX単位のチャーター便で集荷・納品・流通在庫削減を強力にサポートします。

BOXはお客様の貸切り。BOX単位で受け付けし、配達するため、コストを抑えられます。積み付けた後はお届け先まで一切BOXは開きませんので破損、口割れの心配もいりません。前日18時までに出荷、翌日10時から納品時間を指定できる便利なサービスです。

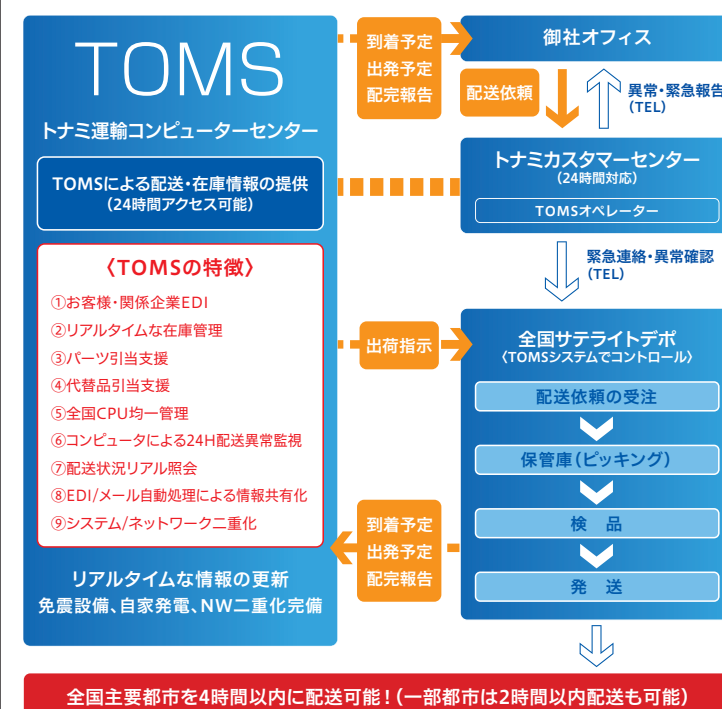


貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業

ロジスティクスサポート事業

〈トナミ・サプライ・メンテナンス〉 緊急配送システム概要

サテライトデポを利用した緊急配送システムがお客様の商品を迅速にお届けいたします！



24時間365日、 お客様の「目」と「耳」になり、 物流を監視・管理し 高品質な配送を提供します

ロジスティクスサポート事業とは、「お客様の24時間365日の物流ニーズ」に対応するために、既存の全国物流ネットワークとコンピューターシステムを融合させた新しい物流サービスです。インターネット環境を利用したマルチベンダー型物流管理システムにより、お客様と物流業者による配送状況や在庫状況をリアルタイムで共有化を可能にし、それぞれの顧客ニーズにマッチした物流システムの構築、サービスの提供により物流の最適化を図ります。

事業内容

- 24時間対応の配送が全国に配置した23カ所のデポとTOMSシステムにより実現可能です。
- 配送工程・入庫工程などすべての工程に対するレポート機能が充実しています。
- TOMSシステムによりお客様(メーカー・販売店・エンドユーザー)がリアルタイムに必要な情報を確認できます。
- 在庫のリアルタイム更新ならびに照会が可能です。

■緊急配送サテライトデポシステム

全国23カ所のサテライトデポと100を超えるサブサテライトが、あらゆるニーズにお応えします。

サービス内容

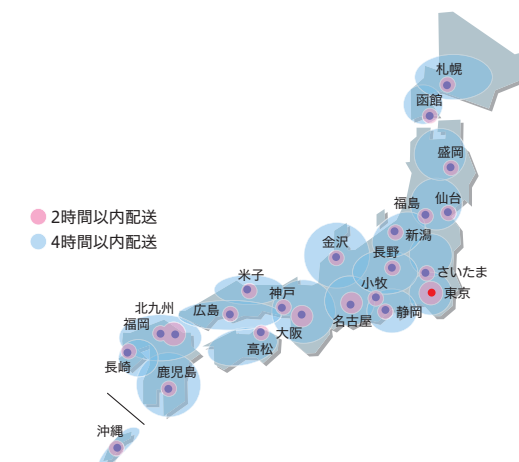
- 24時間365日対応
- 緊急配送(出動)
- 商品の在庫管理
- 1つの窓口で一括管理
- 特殊作業を全国に均一レベルで一斉展開

■TTMS(物流業務進捗管理)システム

インターネット環境があれば、IDとPassの入力でいつでもどこでもあらゆる端末でログインができ、情報の閲覧ができます。

サービス内容

- 複数物流業者の情報を一括管理
- お客様の依頼に対する進捗管理
- 在庫管理
- 日々の物流コストの自動計算



貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業

引越事業



人の笑顔、家族の幸福を 全国どこへでも運びます

大がかりなオフィスの移転から小さなお引越まで、全国どこへでもお客様の「新生活」を丁寧に運びます。安心・安全な引越サービスを提供する引越優良事業者として「引越安心マーク」を取得しており、お客様の立場に立って品質第一を心がけています。



引越優良事業者認定証

オフィスの引越

オフィスや店舗、工場をまるごとお引越。
業務に支障なく、移転業務が完了します。

開設・移転計画からお引越までをトータルサポート。移転先のレイアウト作成をはじめ、原状回復工事の施工、NTTの移転手続き代行、OA機器の販売・メンテナンス・コンサルティングなども行っています。



住まいの引越

荷造りから輸送まで、丁寧・確実に、家族の大切な
お荷物を思い出・幸福とともに運びます。

大型家具・家電製品、衣類、書籍、食器など、大変で煩雑な住まいのお引越を丸ごとお引き受けし、お客様の「暮らし」を全国へ。オプションとして、エアコンの電気工事手配や家財の一時保管、ピアノの調律・修理なども受け付けています。



ミニ引越

進学、就職、単身赴任のお引越はおまかせください。
新生活のスタートを真心込めてバックアップします。

ご進学、ご就職、単身赴任など、新生活のスタートを熱く応援します。お引越のプランニングから梱包のお手伝い、新居へのお引越まで、お客様のご要望に沿って、スムーズに進めていきます。



その他のサービス

会場の設営、精密機器の運搬、重量物の運搬、
商品の陳列、仕分作業なども行います。

協会会社と提携により、海外へのお引越も受け付けております。



貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業

国内航空事業



航空機とトラックの スピーディー輸送で、 “今日中に届けたい”を 実現します

航空輸送と陸上輸送との絶妙なコンビネーションで、よりスピーディーにお届けします。さらに突発的に生じたビジネス文書など一刻を争う時にも、当日配達を可能にし、スピード時代の物流を先駆けています。

トナミ航空便

航空機とトラック輸送のコンビネーションで物流シーンのシナジー効果を発揮します。

日本を代表するエアラインと連携し、各地ヘテイクオフ。スピードを要する検体輸送や生鮮品輸送などを空のネットワークとトラックによる陸上輸送のシナジー効果で国内当日配達も可能です。航空便でビジネスシーンに新たな付加価値を与えます。

貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業

通運事業

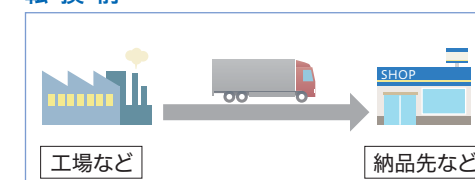


地球環境にやさしい コンテナ輸送で CO₂を削減します

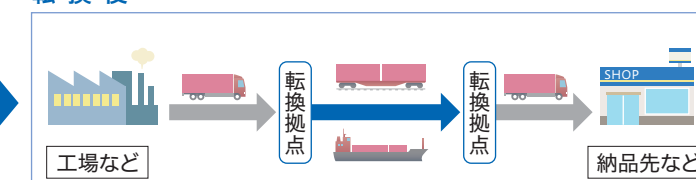
地球温暖化防止への取り組みは、全世界の緊急重要課題となっています。当社グループは鉄道的大量高速性とトラックの機動性をドッキングさせたJRコンテナ輸送のモーダルシフトを推進しており、トラック輸送の削減による環境負荷低減と同時に、交通事故防止や長距離運行などの効率化につなげています。

■モーダルシフトの仕組み

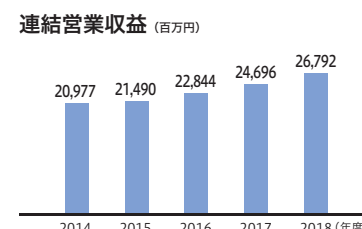
転換前

モーダル
シフト

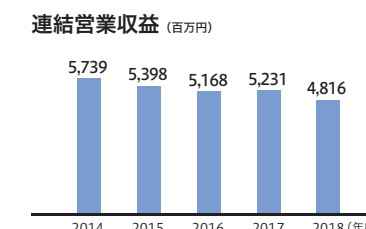
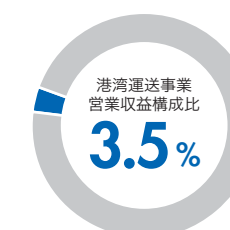
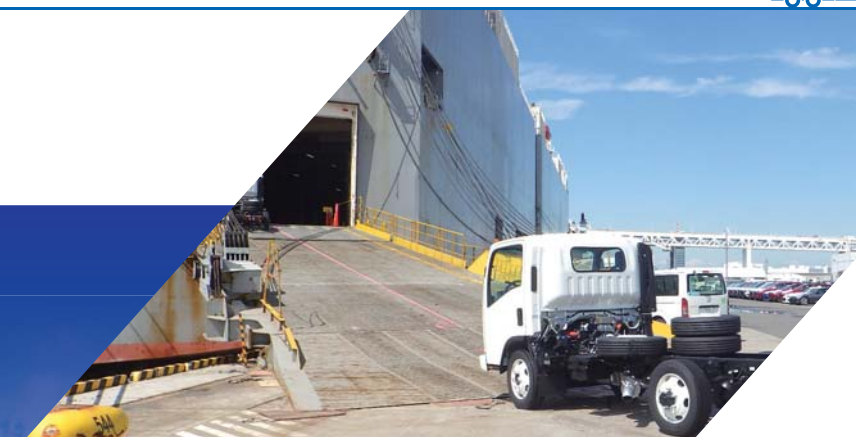
転換後



倉庫業



港湾運送事業



3PL(サードパーティロジスティクス)事業

お客様の物流機能の効率化や高度化を目的とした包括的なアウトソーシングサービスです

輸送・保管など基本的な機能のほか、情報システムを活用した受発注・在庫管理・仕分け・梱包など関連する業務を提供しています。

アセット型はもとより、自社保有の資産にとらわれないノンアセット提案も行っています。社会全体が環境に対する関心が高まる中、省エネ設備・技術を導入した物流施設を増やし、環境負荷を低減する取り組みを進めています。

お客様に最適な物流環境を提案するトナミのトータルマネジメント

■コンサルティング機能

物流の現場を調査、分析し、最適な物流環境をご提案します。

豊富な実績とノウハウを持つコンサルタントが、物量、立地状況、輸送ルートなどを調査、分析し、最適な物流環境をご提案します。



■業務運営機能

入庫や保管の業務などを、最適に運営します。

多種多様な物流情報システムを組み合わせ、物流業務の効率化をサポートしています。
物流現場のオペレーションも当社の経験豊富な技術スタッフが行います。



■情報システム機能

お客様のニーズに合わせて、最適なシステムをご提供します。

物流に関するあらゆるノウハウをシステム化し、ITを活用することにより、物流に関わるすべての機能をコントロールし、最適なシステムを構築します。



■物流ネットワーク機能

国内外のネットワークを駆使し、物流の最適化を図ります。

国内に展開する流通センターと、国内外に広がる物流ネットワークを駆使し、お客様のニーズに迅速に対応できる最適な物流ネットワークをご提供します。



国際物流事業

陸・海・空に広がる国内・国際輸送ネットワークで確実に配送します

経済やビジネスのグローバル化に合わせて世界各国へ荷物を配送する機会も珍しくなくなっている今日、当社グループでは国内外での関連会社や代理店との提携により地球規模のネットワークを張り巡らせています。国外へも国内と同様に安心・確実・スピーディーな配達を実現しています。

国際航空輸送

国内と同様に安心・確実・スピーディーな配達を実現しています。

国際貨物を専門に取り扱う事業所として、東京、富山、福井、大阪、名古屋の各々に国際支店を設置し、空港での通関業務サービスを含め、有力フォワーダーとの提携により輸出・輸入問わず最適な輸送サービスを提供しています。また、輸出入業務に精通したスタッフで万全の体制を整えています。

国際海上輸送

一般コンテナ輸送を中心に通関から船積までの一貫した海上輸送サービスを提供します。

当社グループによる通関業務サービスと港湾最大手会社、ならびに大手フォワーダー会社との業務提携により、輸出・輸入問わず高品質な輸送サービスを提供しています。

海上貨物を中心に扱うトナミ国際物流では、AEO事業者※の認定(認定通関業者及び特定保税承認者)を受けており、高い信頼性・安定性を確保しています。また、車両の輸送業務については、長年蓄積された高いノウハウに基づいたサービスを提供しています。



特定保税承認者 承認書



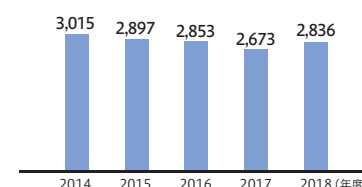
認定通関業者 認定書

※AEO (Authorized Economic Operator) 制度とは、貿易におけるセキュリティ確保と円滑化の両立を図り、世界基準での貨物の管理と法令遵守の体制が整備された事業者に対し、税関手続の緩和・簡素化を提供する制度です。

情報処理事業

情報処理事業
営業収益構成比
2.1%

連結営業収益 (百万円)



物流業務の効率化とサービス向上をめざします

■KSR事業内容



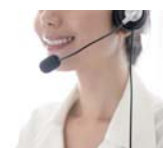
○ソフトウェア開発
お客様にジャストフィットするシステム構築を行っています。



○ハードウェア販売
オフィスはもちろんあらゆるワークシーンに機能美を実現します。



○ソリューションサービス
時代の先端を見つめたネットワーク環境をサポートします。



○保守サービス
丁寧なアフターフォローと迅速な対応で安心を提供します。

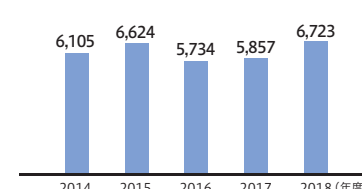


○情報分析サービス
コンピュータに関するトータルな運用管理サービスを提供します。

物品販売事業

販売事業
営業収益構成比
4.9%

連結営業収益 (百万円)



お客様のニーズに幅広いサービスと商品をご提供します

当社グループでは、通信販売及び店舗販売の双方にて各種商品の販売を展開しています。

■トナミ運輸 物品販売事業部

通信販売で北陸の名産品や全国のご当地ラーメンなどを幅広く取り扱っております。また、トナミ運輸バドミントン部のオフィシャルショップを運営し、国内のみならず海外からも注目を頂いております。

■東洋ゴム北陸販売

お客様のカーライフをプロの技術でサポートするタイヤショップ「タイヤプロ」を富山県内5店舗で展開しています。日常のタイヤ点検から緊急時の出張技術作業まで、お客様に安心・安全をお届けする身近なプロショップです。

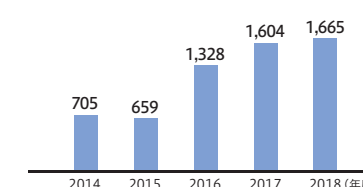
■トナミ商事

お客様の日常生活の安心・安全から企業のリスクヘッジまで、万に備えるための手段としての保険や、時代のニーズを捉えた付加価値の高いサービスと商品をご提供しています。また、ビジネス出張や団体旅行まで目的に応じたプランもご案内します。

その他

その他
営業収益構成比
1.2%

連結営業収益 (百万円)



その他

車両整備事業



信頼の絆を育む、 トナミ独自の安心車検です

当社グループとして、野田・新潟・砺波・金沢・福井・名古屋・滋賀の7カ所に車両整備拠点を置き、国公認整備工場として信頼できる点検整備を行っています。確かな整備・技術がトナミの車両と日々の運行をサポートし、お客様への安心を支えています。トラックや商用車だけでなく、マイカーの車検点検整備もお受けしています。

その他

環境関連事業



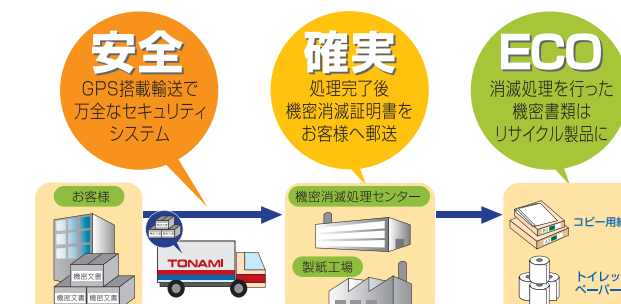
地球と人にやさしい、循環型社会をめざして 様々な活動を推進しています

限りある資源を大切に、廃棄物の発生をおさえ、資源を循環的に利用する「循環型社会」をめざす取り組みは、現在企業の業種や規模を問わず求められている課題です。この課題に当社グループは物流で応え、リサイクルと循環型社会の形成に貢献しています。

■エコロックシステム

エコロックシステムを発展的にリニューアルした「エコロック便」は1個口からでもセキュリティ（GPS機能搭載）を付加した輸送モードにより、回収と機密消滅ができる商品です。

オフィスで不要になった重要書類を、安全・確実に回収・消滅いたします。



■産業廃棄物の収集運搬

○環境関連法に対応した物流

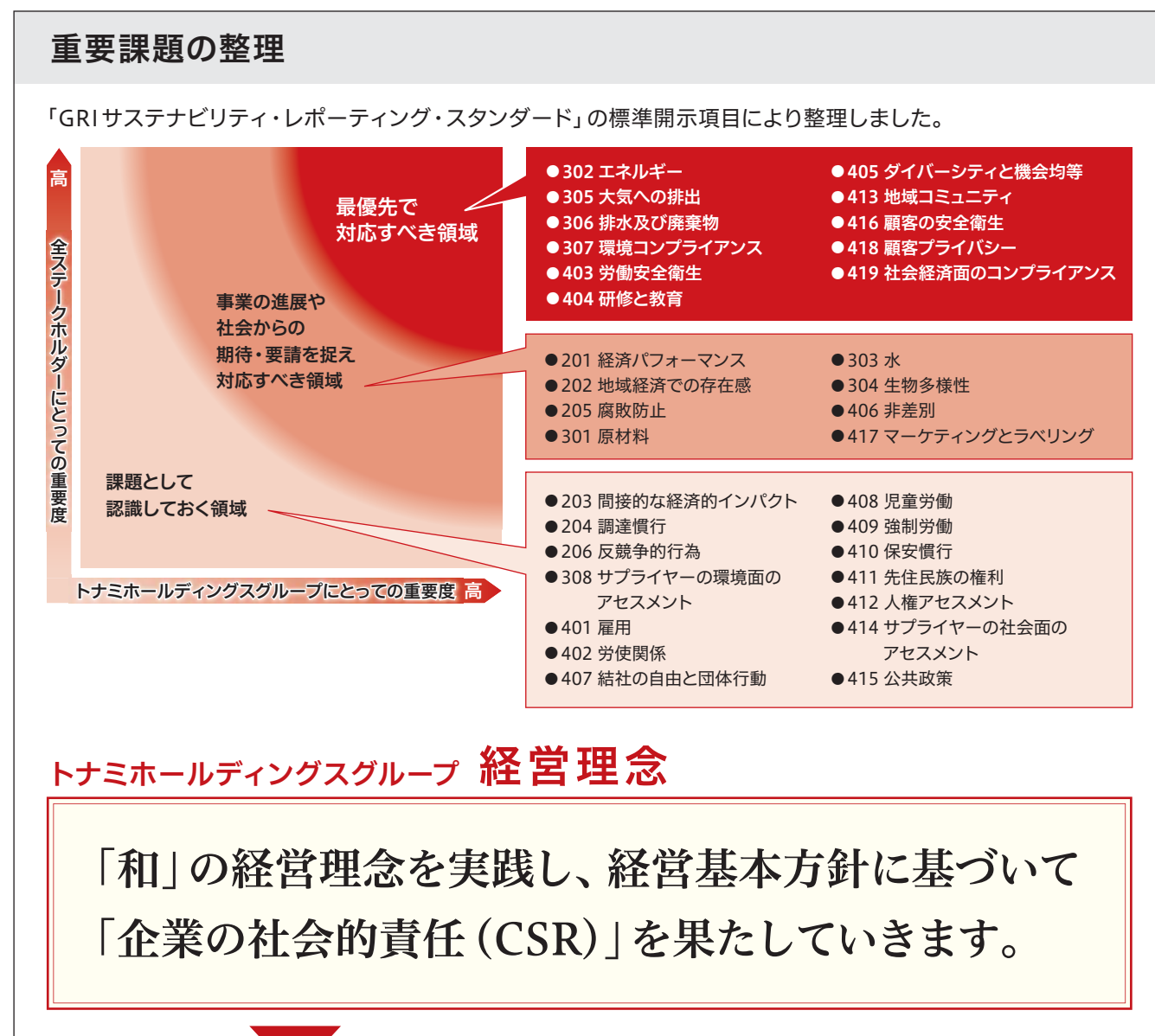
環境の保全への対応は、地球規模で求められています。社会的規範や企業倫理（モラル）を守ることも「コンプライアンス」に含まれ、環境関連法への対応は企業経営の観点から不可欠です。当社グループは、環境関連法を遵守し、環境省広域認定制度のコンサルティングから運用に関して最適な物流をご提案します。

■アルハイテック

アルミ系廃棄物から、水素エネルギーをはじめとする有用な資源を回収する技術を有しており、システム開発・装置販売を行っています。

アルミを用いたCO₂フリー水素が持続的な地球環境の保全に貢献したる水素社会の一翼を担います。

トナミホールディングスCSR重要課題特定のプロセス



特定した重要課題

上記で整理した重要課題候補をもとに、ステークホルダーとトナミホールディングスグループの双方にとって重要性の高い項目について、トナミホールディングスグループのCSR行動指針との関連性を考え、トナミホールディングスグループの重要課題としました。

輸送の安全確保	地域社会とのコミュニケーション
物流品質向上	働きやすい職場づくり
環境マネジメント	コーポレートガバナンスの強化
地球温暖化防止・大気汚染防止	コンプライアンスの推進
リサイクルの推進	

持続可能な開発目標

(Sustainable Development Goals:SDGs)

2015年9月、国連サミットにて「持続可能な開発目標 (SDGs)」が全会一致で採択されました。2030年までに達成するべく、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動などに関する17のゴールが宣言されています。



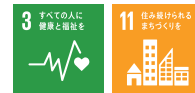
トナミホールディングス2019年度CSRの取り組み

項目	重要課題	具体的取り組み	関連するSDGs
安全	輸送の安全確保	安全管理体制の整備 ドライバーの安全教育 安全性優良事業所の取得推進 安全確保のための設備導入 危険予知訓練の実施	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを
	物流品質向上	物流品質向上のための社員への教育 「トナミ・クオリティ 10」の展開 物流品質マイスター制度 お客様アンケート	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを
環境	環境マネジメント	環境方針の制定 環境負荷軽減への取り組み ISO14001の取得 グリーン経営認証の取得	6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう
	地球温暖化防止・大気汚染防止	CO ₂ 排出量削減に向けた取り組み 省エネ設備の導入 環境に優しいトラックの導入 エコドライブの実践 「トナミの森」CO ₂ 排出量削減・里山再生プロジェクト	
	リサイクルの推進	使用済みタイヤのリサイクル 使用済みコピー用紙・ラップ・段ボールのリサイクル 廃アルミのリサイクル	
社会	地域社会とのコミュニケーション	福祉支援活動 災害義援金拠出 / 寄付活動 ランドセル寄贈 募金型自動販売機・AED付自動販売機の導入 こども110番の家 地域清掃活動 インターンシップ 富山マラソンに協賛 バドミントン教室の開催 スポーツ支援活動	1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を實現しよう 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを
	働きやすい職場づくり	働き方改革の取り組み 健康経営の推進 女性活躍支援 メンター制度	4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を實現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう
ガバナンス	コーポレートガバナンスの強化	コーポレートガバナンスの強化 内部統制システムの整備	16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリシップで目標を達成しよう
	コンプライアンスの推進	コンプライアンス・リスク管理体制の整備	



輸送の安全確保

トナミホールディングスグループの交通事故防止への取り組みは、事業の中だけでなく地域社会にまで展開し、安全な社会づくりに貢献していきたいと考えています。



輸送の安全に関する基本的な方針

トナミホールディングスグループは、輸送の安全に関する基本的な方針を設定しています。

- 1 当社の安全衛生は、従業員の生活と安全を守ることを基本とする
- 2 常に安全・確実・迅速なサービスを提供する
- 3 交通事故のない社会を作り上げるための牽引車となるべき行動を取る
- 4 あらゆる機会を利用し、地域の安全推進企業として社会に信頼されるよう模範行動に徹する

COLUMN

運転適性診断車「あんぜん号」

営業用車両の管理については、日常的に法令を遵守することを基本に、ドライバーとしての適格性を確保・安全運行に努めることを責務として業務に取り組んでいます。その一環として、あんぜん号の事業所巡回による運転適性診断指導を行っています。今後とも、ドライバーの一層の安全適性の確保に努め、運送事業者としての社会的責任を担っていきます。また、地域の交通安全指導にも貢献していきます。



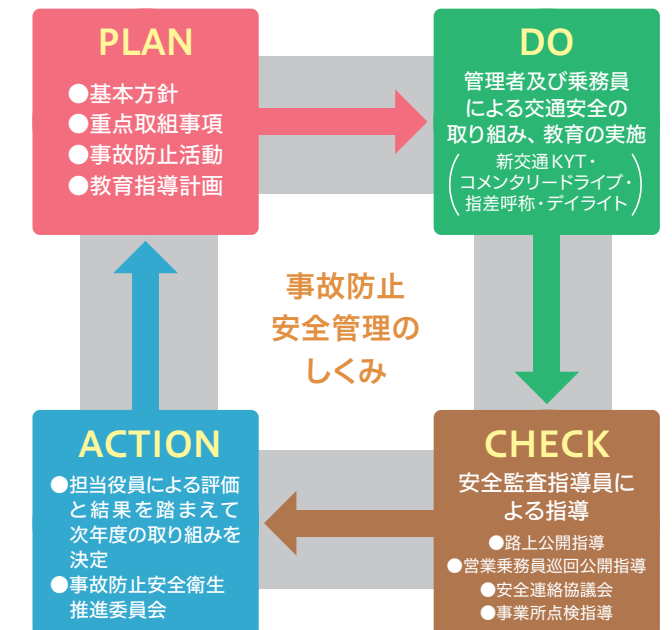
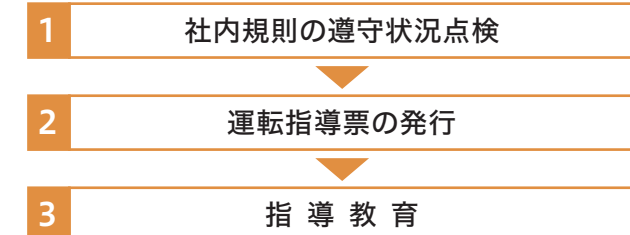
あんぜん号 運転適性検査器

安全管理体制

当社グループの運送事業会社は、会社ごとに交通事故防止や労働災害防止などを目標として、事故防止安全衛生推進委員会組織を設置し、常に多様な課題に対して討議を行いながら、安全面・衛生面の向上に取り組んでいます。また、交通安全の取り組みは、PDCAサイクルを回し、継続的な改善を実施することによって、次年度の取り組みにつなげています。

■安全管理強化システム

事故防止の強化を図るため、乗務員一人ひとりに3段階評価を実施し、結果に応じた指導を行う「安全管理強化システム」を推進しています。



新入ドライバーの安全教育

トナミホールディングスグループの物流事業会社は、ドライバーの新入社員安全教育として、自動車学校の教習コースを使い安全指導員によるトラック運転技術、整備検査員による車両点検などの安全教育研修を行っています。研修では、トラックドライバーとしての営業知識や任務についての講義のほか、国土交通省の教育指針に合わせ、トラックの特性による死角や内輪差、夜間の目測・色別の体験教育や健康管理など、プロドライバーとしての自覚と事故の未然防止のための運転行動及び安全運転のための留意点などについて教育しています。また、性格検査結果による運転指導やアンケートによるメンタルケアにも取り組んでいます。



家族交通安全ポスター

トナミ運輸労働組合では、事故防止の取り組みとして、組合員の家族のみなさんに交通安全に関するポスターを募集しました。優秀作品は常にドライバーの目に留まる場所で掲示しています。

今後も家族の願いを心に刻み、一層の交通事故防止に努めます。

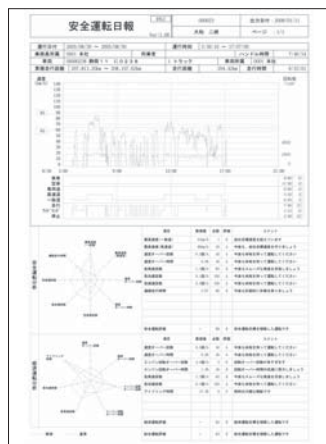


家族交通安全ポスター

デジタル式運行記録計の活用

当社グループは、デジタル式運行記録計※を導入し、車両に装着しています。このシステムの導入により、危険運転や事故発生の記録はもちろん、安全運転の証明もできるようになり、交通事故防止だけでなく、模範運転について指導ができるようになりました。

※デジタル式運行記録計は、時間・距離・速度の3要素を含むすべてのデータを数値で記録をとり、画像での解析・表示ができます。



運転日誌

危険予知訓練

当社グループは、ドライバーの危険感受性を高めることを目的として、日々の出発前点呼時にKYT（危険予知訓練）を行っています。運転中にひそむ危険要因とそれを引き起こす現象を、写真を使って指差唱和・指差呼称で確認し、考え合いながら、行動する前に解決できるよう訓練しています。



ドライブレコーダーの導入

当社グループでは、ドライブレコーダーの導入を推進しており、グループ全社で約3,500台の運行車や集配車に取り付けています。ドライブレコーダーは事故処理時だけでなく、管理者がドライバーの運転画像をチェックして安全運転指導を行い、交通事故防止のために役立っています。



バックカメラの導入

当社グループでは、主に集配車を中心にバックカメラの取り付けを推進しており、現在までに約1,500台以上のトラックに設置を完了しています。バックカメラを設置することで、後方の安全を明確に確認することが可能となり、後方の追突事故を減少させることができました。

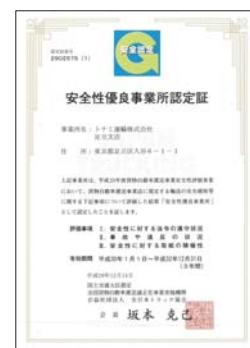
デジタル式運行記録計、ドライブレコーダーやバックカメラの導入により、ドライバーの安全運転をサポートし、さらなる安全な社会づくりに貢献していきます。



安全性優良事業所（Gマーク）

当社グループでは、公益社団法人全日本トラック協会が認定する、安全性優良事業所（Gマーク）の取得を推進しています。Gマークを取得することにより、お客様に安心して当社グループを利用して頂く基準となるとともに、トナミホールディングスグループ全体の安全性の向上に対する意識を高めるための環境整備を図るという目的があります。今後は

さらにこの取り組みを推進し、より高い安全性を追求していきます。



安全性優良事業所認定証

COLUMN ハイウェイレディ

トナミ運輸は、富山県高速道路交通安全協議会の委託を受けて、当社社員をハイウェイレディとして派遣し、高速道路を利用するドライバーなどの交通安全意識の向上を目的に、富山県内のインターチェンジやサービスエリアで安全運転を呼びかけています。



有磯海サービスエリアにて交通事故絶滅運動実施

物流品質向上

トナミ運輸は、総合物流企業として社会に寄与し、常に安全、確実、迅速なサービスを提供し、顧客ニーズに対応しています。



物流品質向上のための社員への教育

物流サービスの提供にあたっては、効率化を図り、さらに高い品質をめざし、事業が絶えず成長を続けるため、品質方針に基づいて行動します。“会社主導”の取り組みから“現場が主役”の取り組みへ社員一人ひとりが自ら考え、行動する生きた組織を目標とし、日々社員の意識向上のための

取り組みを推進しています。

また、トナミ運輸全事業所において「トナミ・クオリティ10」を展開し、さらなる物流品質の向上をめざしています。



ISO9001 適合証明証

物流品質マイスター制度

当社独自の「物流・安心品質づくり」のノウハウの継承を促進する有効な手段として、物流業界では類を見ないものであり、輸送品質のさらなる向上をめざし「お客様の高い評価と信頼を勝ち取る品質の実現」を目的としています。

「物流品質マイスター」に認定することにより、人材育成の

一環として、すぐれた技能・スキル・マネジメント力をもった社員の育成を促進し、お客様の立場を一層重視した物流品質を安定的・継続的にお届けする「組織づくり」をめざします。

活動内容

- ①管轄主管店所の現場点検
- ②物流品質マイスター会議開催
- ③物流品質マイスターニュースの発行
- ④荷主品質会議に出席
- ⑤主管支店主催の担当者会議に出席



2018年度認定の物流品質マイスター

お客様アンケートの実施

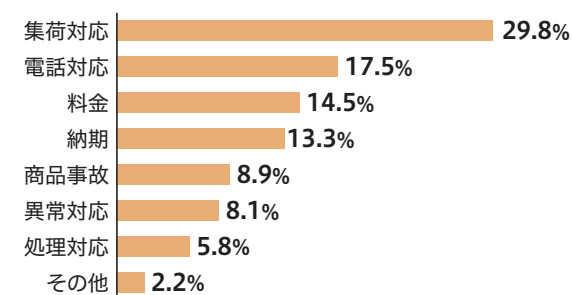
トナミ運輸では、お客様の声に応える物流品質づくりに向け、毎年2回お客様アンケートを実施しています。

1回目のアンケートでは、当社への評価・改善点・問題点を明らかにし、2回目のアンケートでは、1回目に要望やご意見を頂いたお客様に対して、当社からお客様への対応の変化や

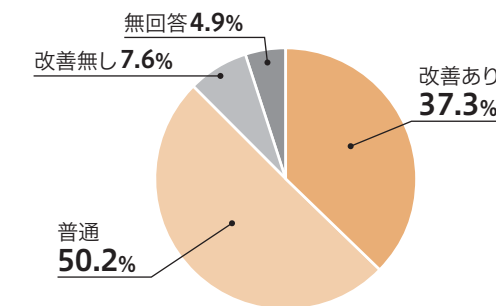
改善が実施されたのか再度評価を頂くためにフォローアップアンケートを実施しております。

当社としての現状把握とアンケートを基に社員への指導教育を行い、さらなるお客様満足度の向上と物流品質向上に取り組んでいます。

トナミ運輸の良い対応



フォローアップ結果





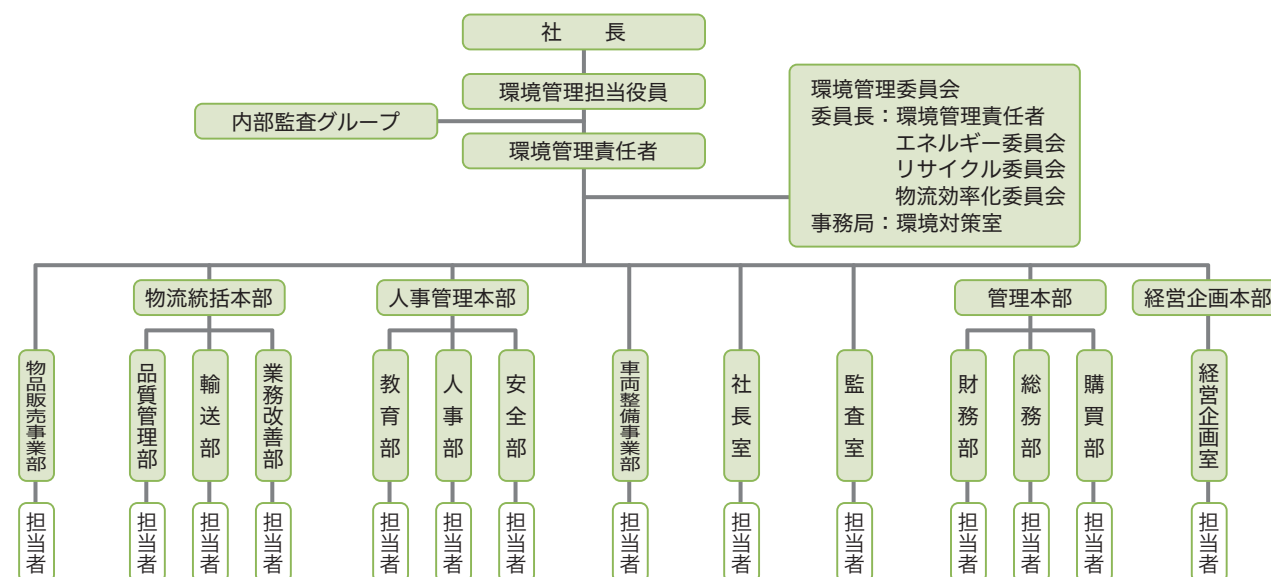
環境マネジメント

私たちは、安全で確実・迅速な輸送サービスをお客様に提供し、ご満足頂くことが第一の使命であると考えます。
同時に私たちを取り巻く環境問題についても、私たちにふさわしい責任を果たすことをめざします。



環境管理組織図

※トナミ運輸



環境方針

トナミ運輸は、環境活動を推進するための環境マネジメントに取り組んでいます。次の環境方針を定め、様々な活動に目標を持ち、結果を見直し、継続的改善に向けて、体制強化に努めています。

地球環境を守る事は、あらゆる生命の生存に関わる最重要テーマであると認識し、「輸送を通じ社会に寄与し、地球環境の保全に努める」を基本理念として、以下の方針に基づいて取り組みます。

- 1 輸送サービスを提供することによって生じる環境汚染に対して、次の事を守ります。
 - ①環境に優しい車の導入を図ります。
 - ②エコドライブの実践に取組みます。
 - ③物流の効率化を通じて、地球環境に優しい物流システムを構築します。
 - ④リサイクルシステムを構築し、循環型社会づくりに貢献します。

- ⑤環境に優しい商品の開発、提供を推進します。
- ⑥省資源、省エネルギーに継続的に取り組み、日々、改善を図ります。
- 2 環境に関する国・地方自治体等の法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守し、環境保全に努めます。
- 3 環境目的及び環境目標を具体的に定め、定期的にレビューを実施し、環境マネジメントシステムの継続的な改善を致します。
- 4 社内環境教育、啓発活動を通して全従業員に本方針を周知すると共に、一般にも公開し、さらに、地域社会への環境保全活動に積極的に参加します。

環境負荷軽減への取り組み

当社グループは、「Do Eco!」をスローガンに社員一人ひとりが日常、気軽にできる5つの取り組みを設定しています。

5つの取り組み

- 1 省電力の推進
- 2 コピー用紙使用量の削減
- 3 ゴミ分別の徹底
- 4 安全な走行を心掛けよう
- 5 アイドリングストップの実施



Do Eco!ポスター

ISO14001(環境マネジメントシステム)の活動

トナミ運輸は、2003年10月、本社において環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しました。以来15年間、毎年定期審査と3年ごとの更新審査において、基準に適合していることを認証されています。今後も環境負荷軽減のための目標を設定し、1. Plan (計画) 2. Do (実行) 3. Check (点検) 4. Action (見直し) を繰り返すことによって、その達成に向けた取り組みを実践し、継続的改善を図っていきます。



ISO14001 適合証明証

グリーン経営認証の取得状況

当社グループの物流事業会社7社は、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団が運営しているグリーン経営認証制度において適合していることを認証されています。今後もグリーン経営推進マニュアルに基づきエコドライブや

低公害車の導入などの取り組みを実施しながら、物流における環境保全の実効性向上につなげていきます。

グリーン経営認証取得会社一覧

- トナミ運輸 2事業所
- 福井トナミ運輸 1事業所
- 北陸トナミ運輸
- 阿南自動車 6事業所
- 京神倉庫 2事業所
- 北海道トナミ運輸 5事業所
- 高岡通運 1事業所



グリーン経営認証登録証

地球温暖化防止・大気汚染防止

CO₂などを中心とする温室効果ガスの増加は、地球温暖化に大きく影響します。低公害車の導入や、輸送の効率化、各種省エネ設備の導入など、温室効果ガス削減のための取り組みを積極的に進めています。



CO₂排出量の削減に向けて

トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国は、エコドライブの実践や低公害車や省エネ設備の導入など環境負荷低減への取り組みを進めた結果、2018年度のCO₂総排出量は、100,765t-CO₂となりました。

また、エネルギー使用の合理化に関する法律(省エネ法)において特定貨物輸送事業者として、貨物輸送のために

使用した燃料から発生するCO₂総排出量を2021年度までに2016年度比で5.5%削減することを目標にし、4つの項目に取り組んでいます。その結果2018年度のCO₂総排出量は81,400t-CO₂となり、2016年度の82,700t-CO₂と比較して約1.6%削減することができました。

■2013～2018年度CO₂排出量(トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国全事業所と全車両(リフト含む) 対象)

使用エネルギー	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2016年度比
軽油	89,139	85,785	84,459	85,130	85,432	84,351	99.1%
ガソリン	1,190	1,131	991	1,083	947	798	73.7%
A重油	235	247	263	248	282	231	93.1%
LPG(リフト)	847	762	729	788	749	764	97.0%
CNG	2,379	2,456	2,502	2,549	2,470	2,307	90.5%
LPG(湯沸)	395	360	324	299	312	297	99.3%
灯油	266	229	239	271	187	183	67.5%
都市ガス	40	38	39	34	30	30	88.2%
電力	13,719	13,128	12,323	12,399	11,825	11,806	95.2%
CO ₂ 総排出量	108,210	104,136	101,868	102,802	102,232	100,765	98.0%
そのうち輸送に伴うCO ₂ 総排出量	88,000	84,400	82,000	82,700	82,500	81,400	98.4%

※温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧(2010.3改正)参照

■2017～2021年度の取り組み(特定貨物輸送事業者として)

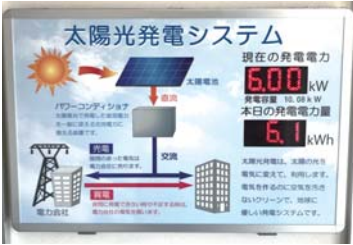
取り組み項目	期待効果	進捗状況(2018年度)
エコドライブの実践 全車両/燃費3%の向上	原単位3.0%向上 (2,054t-CO ₂ 削減)	デジタル式運行記録計の活用や エコドライブ教育等を継続的に実施中
輸配送コースの見直し 実車率の向上 (運行車1運行5km、集配車10km/月)	原単位1.0%向上 (678t-CO ₂ 削減)	車両の走行キロ削減等の効率化を推進中
輸送効率の改善 積載率1%の向上	原単位1.0%向上 (471t-CO ₂ 削減)	車両積載率94.8% (2018年度比2.0%低下)
モーダルシフトの実施 長距離運行系統 (東京～広島)の鉄道コンテナ化	原単位0.5%向上 (500t-CO ₂ 削減)	鉄道によるコンテナ輸送継続実施中

各種省エネ設備の導入

■太陽光発電

トナミ運輸は、久喜支店及び富士支店に太陽光発電を導入しました。久喜支店の月間電気使用量は約46,500kWhですが、そのうち約900kWhを太陽光により賄っています。富士支店も同レベルの発電をしています。

今後建設を予定している支店においても太陽光発電を積極的に導入する予定です。



富士支店の太陽光パネル

■屋上緑化設備

トナミ運輸は、節電対策の1つとして、川崎支店の睡眠室棟に屋上緑化を採用しました。夏場は外からの熱流入を81%カットし、冬場は室内からの熱放出を45%カットできる点が特徴となっています。このためエアコンの使用量が減り、年間

2,600kWhの節電と1.8t-CO₂排出量の削減をしています。



屋上緑化

■省エネ照明の導入

当社グループでは、「エネルギー使用合理化支援事業者補助金」制度を利用し、2009年1月に浦和支店全館、2011年2月に大阪中央支店全館に省エネ設備(照明器具)を導入しました。また、2014年度から全国19のトラックターミナル及び

倉庫にLED照明を導入しました。これらの省エネ設備の導入により、電気使用量で約1,000,000kWh/年(推計)の節電とCO₂排出量で410t-CO₂削減することができました。

今後も継続してLED照明の導入を行っていきます。

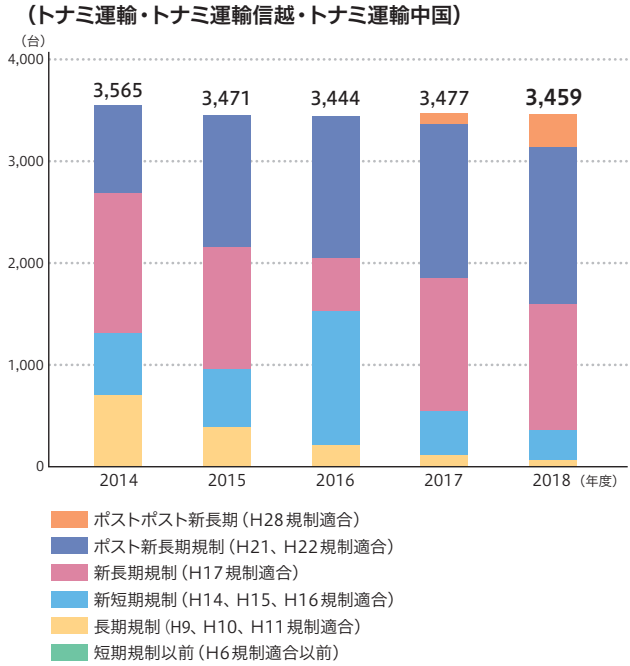
環境にやさしいトラックの導入

トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国は、輸送に関わるNOx、PMなどの大気汚染物質削減を図るため、環境に配慮したトラックを導入しています。2018年度は新たに253台を導入しました。



天然ガス自動車

■トラック保有実績の推移



エコドライブの実践

エコドライブとは、一言で言うと「環境に配慮した経済運転」のことです。やさしい発進を心がけたり、無駄なアイドリングを止めるなどを行って燃料の節約に努め、地球温暖化

■エコドライブ推進の取り組み

エコドライブは、「地球環境にやさしい」「燃料費の節約」「安全運転につながる」「車両にやさしい」と、一石四鳥であることをドライバーの一人ひとりが認識し、その結果は、

■駐停車時はアイドリングストップ

当社グループでは、アイドリングストップワイヤー（キー抜きロープ）をすべての集配ドライバーに携帯させ、短時間車を離れる際も、必ずエンジンをストップするようにしてい

に大きな影響を与えるCO₂の排出量を減らす運転を実践しています。

社内表彰制度で、エコドライブ成績優秀者を表彰しています。

ます。北陸トナミ運輸では、ドライバー一人ひとりのアイドリング時間を管理し、意識付けを行うとともに優秀者を表彰しています。



燃料節約減組運動ポスター

表彰者コメント

日々、無駄なアイドリングをしないように、気を付けています。約12年、取り組み続けているので、当初は苦労しましたが、今では無駄なアイドリングをすることがなくなりました。特に夏場に仮眠をする際は、SAエリア内の日陰で風通しの良い場所を選ぶ事で無駄なアイドリングを防いでいます。今後も、エコドライブに積極的に取り組んでいきます。

北陸トナミ運輸 運行乗務員 有澤 健志

■エコドライブ教育

トナミ運輸は、ドライバー研修や新入社員教育時に、省燃費運転、自動車の適切な点検・整備の仕方、省燃費運転の注意事項について周知徹底を図っています。また、社会活動の

要請を受け、『エコドライブと交通安全』について講師を派遣し、地域社会のエコドライブへの取り組みに協力しています。

「トナミの森」CO₂ 排出量削減・里山再生プロジェクト

トナミ運輸労働組合では、組合結成70周年を迎えたことを機に、2016年より森づくり活動を通じて、CO₂削減による地球温暖化防止及び荒廃しつつある里山再生に貢献する活動を行っています。初年度に苗木250本を植栽し、それを維持するよう、定期的に補植や除草、水やりなどを実施しています。今後も役員が一丸となって地道な活動を継続し、将来、花と緑にあふれ、そして意図するCO₂削減と里山再生を果たすことができるよう、引き続き社会貢献活動に全力を注いで取り組んでいきます。



「トナミの森」CO₂排出量削減・里山再生プロジェクト

参加者コメント



森づくりによる地球温暖化防止と里山再生への貢献活動も今年で4年目を迎えました。枯れてしまったり猪に荒らされてしまったところへの補植や草刈りを行いながら、近年の夏の猛暑日や冬の厳寒の続く日が多い中で強く成長している木々を、今年も見ることができました。地域のみなさまとともに、トナミの森が繁栄していくよう、今後も継続して取り組んでいきたいです。

トナミ運輸労働組合 和田 舞香

リサイクルの推進

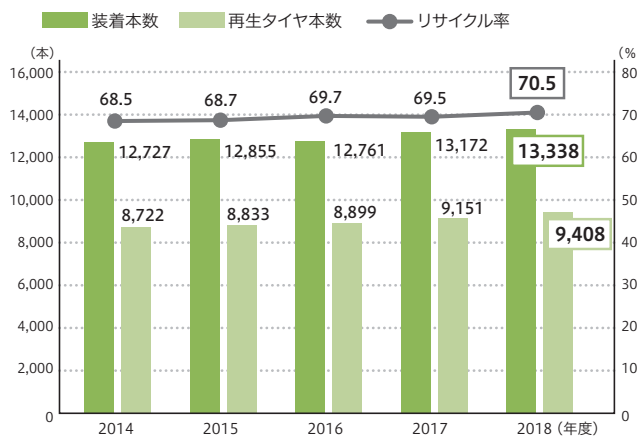
廃棄物削減に向けて従来の取り組みを見直し、継続的改善に努め、ゴミ減量化とリサイクルの推進を行っています。



使用済みタイヤのリサイクル

当社グループは、資源の有効利用を図るため、使用済みタイヤはすべて再生タイヤメーカーに引き取ってもらっています。また、積極的に再生タイヤを使用しています。

■使用済みタイヤのリサイクル実績の推移（トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国）



廃アルミのリサイクル

■アルミ水素のグローバルサプライチェーン概念図を発表

アルハイテックが参加する「アルミ水素エネルギー事業検討会議」は2019年2月にこれまでの会議の研究成果として概念図「アルミ水素の将来性」を発表しました。安価で安全なアルミ由来の水素が原油の代替エネルギーとして活用されることをめざしています。政府が本格的な水素社会の確立をめざす2040年までのグローバルサプライチェーンの構築に向けて引き続き研究が進められています。



■水素生成装置「エ小僧」のレンタルを開始

アルハイテックでは廃アルミから水素を発生させる装置「エ小僧」のレンタルを2018年11月から開始しました。アルミ水素社会の実現と普及に向け、廃棄物の有効活用、エネ

ギーの地域内循環利用について身近に体感してもらうことが目的です。これまで富山県南砺市・砺波市、石川県金沢市・七尾市などのイベントで利用して頂いています。



地域社会とのコミュニケーション

トナミホールディングスグループは、福祉施設への支援活動や次世代育成など、様々な地域活動に参加し、社会に貢献しています。



福祉支援活動

一般財団法人トナミホールディングス松寿会は、1994年3月にトナミ運輸（現トナミホールディングス）の創立50周年記念事業として、社会福祉の増進を図り、もって豊かで住みよい社会の発展に寄与することを目的に、設立された団体です。

2014年4月1日、富山県内に限定されていた事業活動を全国で、かつ、より自由に行えるように財団法人から一般財団法人へ移行し、同時にトナミ松寿会からトナミホールディングス松寿会へ名称変更しました。

2018年度は、富山県の社会福祉法人 砺波市社会福祉協議会様、特定非営利活動法人 立山WAいいちゃ様、社会福祉法人 宇奈月福祉会 小規模多機能ホームかたかご様、石川県の社会福祉法人 手取会 大門園訪問介護サービスセンター様の計4団体に福祉車両の贈呈を行いました。さらに、災害義援金寄付事業として中国新聞社会事業団を通じて、「西日本

豪雨災害義援金」ならびに富山県共同募金会を通じて「北海道胆振東部地震災害義援金」へ寄付を行いました。



福祉車両・助成金贈呈式



綿貫理事長から車両キーの贈呈



福祉車両の取り扱い説明



贈呈車両

災害義援金拠出／寄付活動

トナミホールディングスグループ25社は、西日本豪雨の被災地支援の義援金として中国新聞社会事業団を通じて寄付を行いました。

被災された皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに

■シアター・オリンピックス

世界の舞台芸術作品が集う祭典であり、世界第一線の演出家による舞台芸術の上演が行われます。2019年8月に富山県利賀村と黒部市での開催が決定しました。

国際文化交流の推進と芸術文化の振興のため当社も寄付を行いました。



ランドセルをアフガニスタンへ寄贈

トナミ運輸は、国際協力NGOジョイセフが行っている「想い出のランドセルギフト・眠っているランドセルをアフガニスタンのこどもたちへ」と題した取り組みに参画し、家庭で眠っているランドセルがないか呼びかけたところ、178個のランドセルが集まりました。集まったランドセルは、ジョイセフを通じてアフガニスタンの子どもたちに贈られます。

また、ランドセル検品作業ボランティアに、当社社員が参加しました。全国から集まったランドセルは4,404個。当日は83名のボランティアスタッフで検品作業を行いました。

被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。
また、トナミホールディングスは、地域貢献活動の一環として、様々な地域イベントに寄付を行っています。

■ねんりんピック2018

60歳以上の方を中心に、毎年開催されています。今回は2018年11月3日～6日に富山県で、27種目が県内15市町村で行われました。スポーツや文化を通じた地域や世代を超えた交流に当社も応援しています。

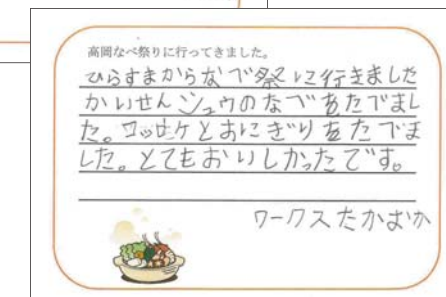
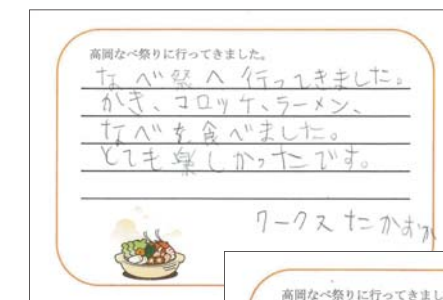


日本海高岡なべ祭り「なべ券」を贈呈

2019年1月12日、13日に、高岡の冬の一大イベント「日本海高岡なべ祭り」が開催され、トナミ運輸は毎年、このイベントに協賛をしています。

これは、直径2メートルを超えるジャンボ鍋で、新鮮な魚介や冬野菜が豪快に煮込まれる「すり身ごっつお鍋」や「海鮮シチュー鍋」をはじめ、八戸せんべい汁や能登ぶぐ汁など県外の魅力あふれる鍋20種類以上を高岡市内の会場で楽しめる、なべ祭りです。

なべ券を100セット「社会福祉法人 高岡市社会福祉協議会」へ贈呈し、「社会福祉法人 手をつなぐ高岡」のみなさんに利用して頂き、後日お礼のお手紙が届きました。



利用者の方々からのお礼のお手紙

募金型自動販売機の導入

トナミ運輸では、提携のベンダー企業に協力を依頼し、募金型自動販売機を導入しました。

地球温暖化対策が求められている中、わずかでもCO₂削減に貢献したいと考え、「緑の募金」に寄付できる自動販売機の導入を決めました。

収益金の一部は地方緑化推進委員会を通じて公益社団法人国土緑化推進機構に寄付され、全国の緑化推進活動費用に充てられます。

今後はこの活動を当社グループ各社に広め、環境にやさしい活動への取り組みを推進していきたいと考えています。



募金型自動販売機

AED付自動販売機の導入

近年、AED（自動体外式除細動器）付の自動販売機が急速に増えてきており、京神倉庫でも本社・西神支店・流通加工支店・須磨支店の4事業所でAED付自動販売機を設置しています。西神地区ではAED付自動販売機を設置することで、神戸市消防局より「まちかど救急ステーション」として登録されていることもあり、万が一の場合に備え、AEDが使用

できるよう、市民救命士講習会にも参加しています。



まちかど救急ステーション

AEDの使用方法と救命措置講習会

北海道トナミ運輸では、2019年5月にAEDの使用方法と救命措置講習会を行いました。これは、昨年、業務中に倒れた協力会社乗務員に対して弊社従業員が救命措置を行ったことから端を発し、AEDの使い方や救命方法を多くの人に知ってもらふ必要があると考え、外部講師をお招きして行ったものです。

AEDについては、名前は知っているが実際に使用したことがある参加者は殆どおらず、使用方法や機能を知り、良い勉強となりました。

また心臓マッサージを経験したことがある者がいなかったことから、いざという場に立ち会ったとき、人命を救うことが如何に大変なことなのかを知る良い講習会となりました。今後もこのような場を開いて行こうと考えています。



講習会風景

こども110番の家

東洋ゴム北陸販売では、社会貢献活動の一環として小学生の通学路沿いにある魚津営業所・砺波営業所・タイヤプロいみず店で「こども110番の家」として協力しています。

こども110番の家は、不審者に声をかけられるなど危険を感じて助けを求めてきた子供を一時的に保護し、警察などに通報する場所のことです。

現在までには、幸いにも警察に通報するといったような危険なケースには遭遇しておりませんが、子供が学校からの帰宅途中、転んで怪我をしてしまったため、消毒や絆創膏を

貼って応急処置をしたり、トイレを貸してあげたりなどの活動を行っています。

子供たちが少しでも困っているときの手助けになったり、少しでも安心な社会づくりに貢献できるように今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。



こども110番の家

地域清掃活動

当社グループでは、地域環境保全のため、社会の一員として地域の清掃活動に積極的に参加しています。

今後も地域清掃活動を通じ、社会に貢献し、多くの方々から認められる会社となるよう、努力してまいります。



周辺道路清掃 (北関東トナミ運輸)



周辺道路清掃 (中央冷蔵)



周辺道路側溝清掃 (トナミ運輸)



諏訪湖周辺清掃 (阿南自動車)

インターンシップ

■大学生インターンシップ

トナミ国際物流では、2019年2月12日～20日までの9日間、港湾職業能力開発短期大学横浜校からのインターンシップの受け入れを行いました。

同校は昭和47年4月に港湾荷役科が設置されて以来、卒業生を現場や貿易事務の即戦力として当社に迎え入れています。今回インターンシップに参加された港湾流通科2年生の高橋京祐さんを含め7名の卒業生が当社にて活躍して

います。9日間の短い期間ではありましたが、「どんな仕事を実際に行うのか」とともに「どんな環境で働くのか」、「どんな人たちと働くのか」を実体験して頂きました。



トナミ国際物流 I-DC本部 高橋 京祐

COMMENT 卒業発表でも取り上げた「AEO制度」に関心があり、AEO認定通関業者でありAEO特定保税承認者であるトナミ国際物流で行うインターンシップは、就職活動においてとても大きな経験となりました。インターンシップを行うことによって、業務を体験するだけでなく、会社の社内環境や雰囲気を感じることができました。また、一緒に働く仲間としてコミュニケーションを積極的にとることにより、入社に対する過度な不安を取り除くことができたと思います。まだまだ緊張は続きますが、現在、I-DC本部で車両部品の輸出業務をメインに頑張っています。港湾短大で学んでいたことをより深く知ることができ、とても貴重な体験となりました。

■トナミタイランド

トナミタイランドグループのマハポーン・トランスポート（以下：マハポーン社）は、周辺大学の物流を専攻する学生達を常時インターンシップとして受け入れています。

マハポーン社が位置するレムチャバン港は、タイ最大の国際貨物港です。海上コンテナの取り扱いでは世界中で上位に入る規模です。そんなレムチャバン港周辺には物流系学部を有する大学が数校あり、外資系船会社、通関会社、物流会社などをめざす生徒達が多数います。

マハポーン社は所轄税関など役所からの協力要請により、そんな物流を専攻する学生を常時数名受入れています。就業期間は4ヶ月、書類作成、請求入力、構内軽作業などが学生達の主たる業務です。インターンシップの受け入れで人材育成に協力し、地域に貢献できればと願ひ取り組んでいます。



インターンシップの様子

■出前授業の実施

アルハイテックが会員として所属している一般社団法人北陸グリーンエネルギー研究会が石川県七尾市の和倉小学校から環境学習の出前授業の要請を受けました。

2018年9月21日に石川県地球温暖化防止活動推進員でもある当社社員が講師として、6年生を相手に「環境活動について学ぼう」と題して、アルミ付き紙パックの回収の取り組み

などについての授業を行いました。アルミ付き紙パックから取り出したアルミを使って発電する実演を行うなどして、リサイクルに関する理解を深めてもらいました。



和倉小学校での環境学習

富山マラソン2018に協賛

トナミ運輸では、2018年10月28日に開催された「富山マラソン2018」にブロンズパートナーとして協賛しました。当日はあいにくの天気でしたが、国内外のランナー 1万3718人が参加しました。

富山マラソンは、県民参加型のマラソン大会で、フルマラソン・車いす・ジョギングの3種目があり、「ものづくりの街」高岡市から「海と大地の恵み」の射水市、「環境未来都市」の富山市と3市にまたがることで富山県の自然を楽しみながらのコースと、県内約30団体による沿道でのダンスやプラスバンド演奏、伝統芸能など、個性あふれる応援が魅力となっています。

当社は、ランナーの手荷物の積み込み、引き渡しの他、各給水ポイントへのドリンクや「鱈ずし」「かまぼこ」などの

食品配給と引き取りを行い、運営スタッフとしても応援・参加しました。

2019年大会でも引き続き応援していきます。



富山マラソン2018スタート地点



参加者の手荷物積み込み



プロ・アマススポーツチームへの協賛

トナミ運輸は、地域貢献活動の一環として、様々なスポーツチームを支援しています。

■富山グラウジーズ【バスケットボール】

富山県富山市を本拠地としてBリーグに所属するプロバスケットボールチームです。



■カタレ富山【サッカー】

富山県をホームタウンとする、Jリーグに加盟するプロサッカークラブです。



■富山GRNサンダーバーズ【野球】

プロ野球独立リーグ・ベースボール・チャレンジ・リーグに所属する富山県のプロ野球チームです。



■アランマーレ女子ハンドボールチーム【ハンドボール】

富山県射水市を拠点とし、日本ハンドボールリーグに所属している女子ハンドボールチームです。



バドミントン教室の開催

トナミ運輸バドミントン部は、国内各地から依頼されるバドミントン講習会などにも選手を派遣し、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。ジュニア選手を対象にバドミントン講習会を行い、スポーツの素晴らしさを共有し、2020年に東京で開催されるオリンピックに希望と夢とともに描き始めています。



2019年4月28日 新潟県黒埼町講習会

スポーツ支援活動

■トナミ運輸 バドミントン部

トナミ運輸男子バドミントンチームは、国内の団体戦・個人戦において優勝、上位入賞を収め、国内トップチームに成長しています。特にS/Jリーグ2018では3連覇を達成しました。

日本代表選手が11名在籍し、男子ダブルスの『ソノカム』ペアこと園田・嘉村は、世界選手権で準優勝を収め、世界



世界バドミントン選手権



国民体育大会

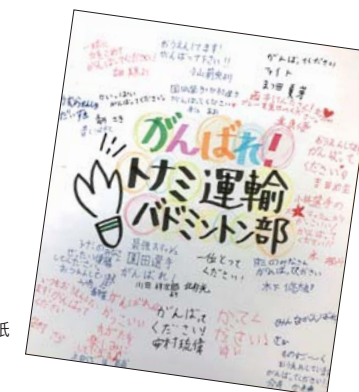


K&Dグラフィックス
インターナショナルチャレンジ



全日本社会人選手権大会

応援色紙



TOPICS

S/Jリーグ3連覇達成

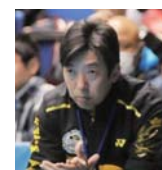
2018年12月8日に富山県高岡市で開催したS/Jリーグ2018大会において、当社チームは3年連続9度目の優勝を収めました。今季S/Jリーグ2018大会からレギュレーションが変更になり、加盟10チームを2ブロック5チームに分け、予選リーグを行い、上位2チームがトップ4トーナメント（優勝決定戦）に進出し、優勝を争う2段方式になりました。

当社チームは、予選リーグを4戦全勝1位でトップ4トーナメントに進出し、組み合わせ抽選で準決勝は日本ユニシスと対戦、前回大会2位チームで他の大会でも優勝争いを繰り返している事実上の優勝決定戦を2-0のストレートで勝利し、翌日の決勝戦では、NTT東日本を2-1で下し3連覇を達成しました。

バドミントン界の普及・発展を担ってスタートした国内最高峰のリーグ戦も今回で40回目の節目の大会となり、このリーグ戦で育った日本代表選手達が国際大会で大活躍し、今では日本バドミントンのレベルは世界トップクラスに成長しています。2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックのバドミントン競技において当社選手の出場メダル獲得にトナミホールディングスグループ全社社員で応援しています。



監督のコメント



バドミントンS/Jリーグ2018大会では、全国各地で開催された会場で当社チームに盛大な応援を頂きましたことに、心より感謝御礼申し上げます。皆様方からの大声援がコートに立つ選手達の勇気と力になり最高のパフォーマンスを展開してくれました。今後、さらに精進を重ね4連覇を成し遂げられるよう努力して参る所存です。感謝の気持ちを胸に刻み戦うパンサー軍団に応援よろしくお願い致します。

トナミ運輸 バドミントン部 監督 荒木 純

働きやすい職場づくり

人事制度、教育制度により、個々の人材を伸ばし、また、職場の安全確保、社員の「こころ」と「からだ」への配慮を通し、社員一人ひとりが活躍できる職場づくりを奨励しています。



働き方改革の取り組み

トナミ運輸は、『持続的な成長企業への進化!!』をスローガンとする「中期経営3ヵ年計画※」において、働き方改革を事業展開の柱に据え、部門や会社全体の業務改善活動及び日々のマネジメント見直しのための推進体制を設置し、「働きやすい職場環境づくり」に取り組んでいます。

※2018年4月1日～2021年3月31日

健康経営の推進

トナミホールディングスグループは、健康経営に取り組んでいます。「社員の健康は会社の財産である」との考えを基に、社員の健康保持・増進を支えるため、様々な施策を行っています。2018年12月に健康企業宣言（step1）銀認定証を授与し、さらなるレベルアップをめざし活動を行っていきます。

■定期健康診断など

定期健康診断については、雇入れ時、特定業務従事者などを法令に則り実施しており、受診率はほぼ100%となっています。なお、特定健康診査については、35歳以上を対象とし早期から生活習慣病の対策を講じています。

■脳MRI健診

脳血管疾患に起因する事故を防止する目的で、50歳と55歳の節目年齢の長距離ドライバーを対象に実施しています。2018年度受診者数は89名、2019年度は60名を予定し、全国の提携151医療機関で受診します。また、産業医指導の下、診断結果に応じた指導を行っています。

■特定保健指導

協会けんぽが実施する40歳以上のメタボ該当者を対象とした特定保健指導を、全事業所において、タブレット端末を使った遠隔面談で実施することで、ドライバーの受診率が大幅にアップしました。

■がん検診

35歳以上全員を対象に胃がん検診、大腸がん検診を実施しています。

■婦人科健診

偶数年齢対象者に子宮頸がん検診、40歳以上の偶数年齢対象者に乳がん検診を実施しています。

主として、

- (1) 業務行程の見直しによる基幹システムの改善。
- (2) 管理部門の効率化による生産性向上。
- (3) 新しい働き方に向けた、働き方環境の見直しの推進。

を展開の要とし、社員も企業も成長し続ける企業体をめざしてまいります。



健康企業宣言認定書授与式



健康企業宣言 宣言証

■定期健康診断後の対応

健診結果放置による重症化予防のため、血圧、血糖値がドライバーの乗務基準数値を上回る二次検診未受診者に対して、産業医・人事部長連名で受診勧奨を実施し、二次健診受診率100%をめざしています。

■メンタルヘルスの取組み

①ストレスチェック実施

全社員を対象に、年1回のストレスチェック実施率は毎年UPしており、職場の集団分析結果について職場環境改善に活用しています。また、外部カウンセラーによる相談窓口を設置し、希望者に産業医面談を実施しています。

②心の健康づくり表明

わが社のメンタルサポートとして、全事業所にポスターを掲示しPRしています。

■ウェアラブルウォッチの貸与

生活改善が必要な従業員にウェアラブルウォッチを貸与し、自身の健康状態を数値的に把握することで、セルフケアに役立てています。

女性ドライバーの活躍

労働人口減少に伴うトラックドライバー不足の中で、女性ドライバーの活躍が進んでいます。トラックドライバーというと、過去から男性の職業というイメージが強く、トナミ運輸においても働くドライバーの大半が男性です。そんな商業貨物を多く取り扱うトナミ運輸の特積事業において、男性に負けず頑張っている女性ドライバーが増えています。力では男性に敵いませんが、仕事に取り組む姿勢は男性にも

負けません。これからも女性ドライバーが活躍できる職場づくりを進めていくことも、トナミ運輸の将来につながるものと考えています。



女性ドライバーコメント



女性ドライバー

トナミ運輸
豊橋営業所
増田 めぐみ

ずっとドライバーの仕事に憧れており、思い切ってこの業界に飛び込みました。入社から2年が経ちますが、皆さん優しく教えてくれて、すぐに仕事に慣れることができましたし、事務所には女性の管理者の方もいて、心強かったことを覚えています。今は、営業グループのリーダーを務めていますが、皆さん快く協力してくれます。これからも期待に応えられるよう一生懸命仕事に取り組めます。

所属長のコメント



所属長

トナミ運輸
豊橋営業所
飯野 俊之

男性中心の中で、非常に頑張ってくれています。男性では分からないことや気付かない点に目がいくなど、男女の違いをうまく仕事に活かしてくれています。人手不足と言われている昨今、女性の活躍がポイントになりますし、彼女の活躍はこれまでの当社の仕事のやり方に変化をもたらす大事なキッカケだと思います。我々管理者も彼女たちが働きやすくなるよう、環境の整備など、これまで気付かなかったことにも目を向けて、取り組んでいきたいと思っています。

メンター制度

トナミ運輸では2017年4月から、新入社員の入社時の不安解消、メンタルケアなどを行い、早期離職の防止を目的として、メンター制度を導入しています。早期離職だけでなく、メンタル面から新入社員をサポートしていくことで、定着率向上につながり、サポートされた人間がまた次の世代をサポートしていくことで、トナミ運輸の将来につながるための制度にしていきたいと思っています。

メンター本来の意味である“助言者”としての役割よりも、

メンターコメント



メンター

トナミ運輸 大阪中央支店
高橋 和也

メンター制度を通じて声を掛けていくことの大切さ、寄り添うことの大事さを実感しています。自分が入社時に抱えていた不安や、自信が無かったころの自分にとって、話を聞いてくれる先輩の存在の大きさを思い出します。新入社員にとって自分がそんな存在になれるよう、自覚を持って新入社員に接して行きたいと思っています。

メンティコメント



メンティ

トナミ運輸 大阪中央支店
由良 和弥

新しい環境への慣れや、仕事を覚えられるか、職場の人と仲良くなれるか…入社したての頃は色々な思いがありました。そんな時にメンターである先輩を紹介してもらい、日々声を掛けて頂き、ここでやっていけるんだ、という自信が持てるようになりました。信頼関係の大切さを改めて知ることができ、トナミ運輸で働けることの楽しさを感じられました。

店所長コメント



店所長

トナミ運輸 大阪中央支店
前馬 新

新入社員にとっては相談役の先輩が近くにいることは心強いと思います。先輩社員にとっては、先輩としての自覚が芽生え、指導することに対する責任感が生まれてきます。人への教育と従業員の意識の変化をもたらすことができ、トナミ運輸をより良くしてくれる制度であると感じています。

役員紹介



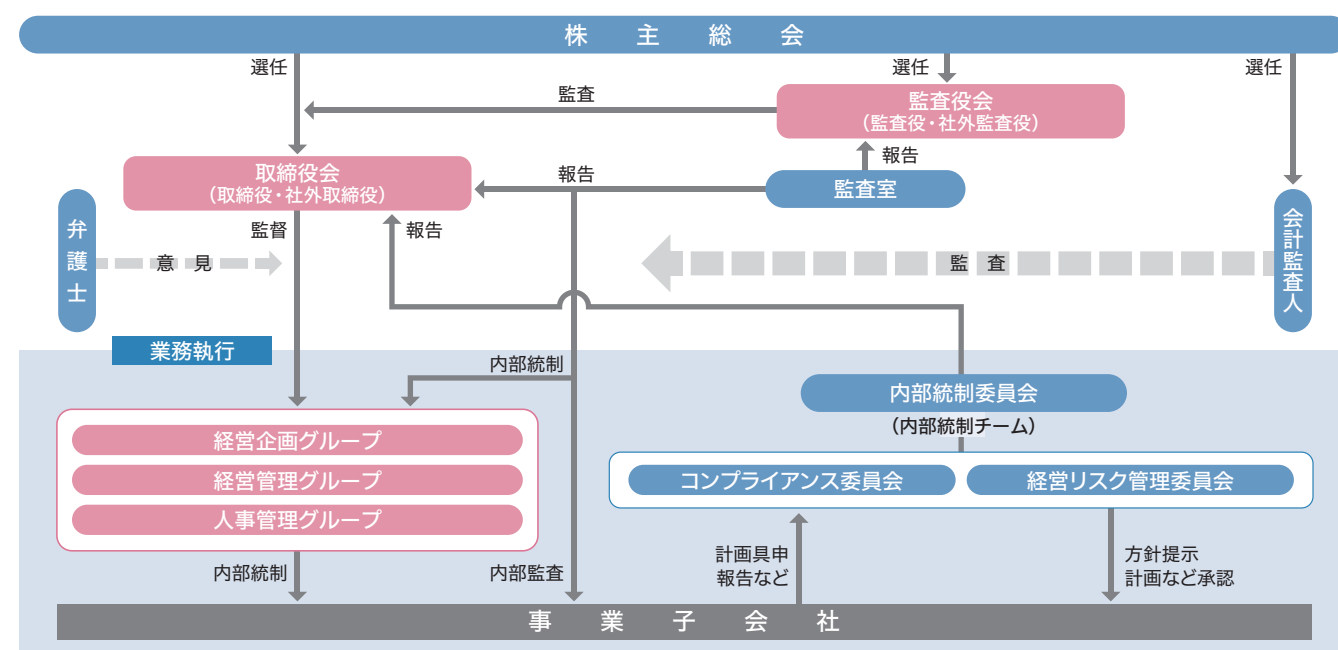
※取締役 犬島伸一郎氏、田中一郎氏は社外取締役、監査役 松村篤樹氏、尾田利之氏は社外監査役であります。

コーポレートガバナンス

トナミホールディングスグループは、コーポレートガバナンスを強化し、社会・ステークホルダーから信頼される企業として、さらなる価値創造をめざします。



コーポレートガバナンス体制組織図



■①会社の機関の内容及び内部統制システム

当社は、経営方針及び経営戦略に関わる重要事項を担当する機関として、社外取締役2名を含む9名で構成する取締役会を設置しております。

取締役会は、取締役会規則に基づいて月1回これを開催することを原則とし、その他必要に応じて随時開催して、取締役会の意思疎通を図るとともに相互に業務執行を監督し、必要に応じて外部の専門家を起用し、法令定款違反行為を未然に防止することといたしております。

また、内部統制構築の一環として、監査役制度を採用しており、常勤監査役2名、社外監査役2名の4名体制で構成し、監査役は取締役会及びその他重要会議への出席や意見の具申などで取締役の適法性について監査しております。

取締役の職務執行については、監査役会の定める監査の方針及び分担に従い、社外監査役を含め各監査役の監査対象となっております。

取締役が他の取締役の法令定款違反行為を発見した場合は、直ちに監査役及び取締役会に報告し是正を図ることとしており、内部監査部門として業務執行部門から独立した

監査室を置いております。

なお、一般株主との利益相反が生じるおそれのない独立役員3名を選任し、外部の視点での取締役会の監督機能の強化を図ることとしております。

さらに、コンプライアンス体制の基礎として「トナミグループ社員行動規範」を定め、意思決定機関として社長を委員長とする内部統制委員会を設置し、内部統制担当役員を中心とする内部統制システムの向上を図っております。

コンプライアンスの統括組織としてコンプライアンス委員会を設置し、内部統制チーム（監査室内）が内部統制体制の維持・向上のための統括・運営・研修を実施しております。

事業子会社における業務の適正を確保するため、グループ事業子会社すべてに適用する行動指針として「トナミグループ社員行動規範」及び、「グループ運営規程」を定めるとともに、これを基礎として、グループ事業子会社で諸規程を定めております。なお、経営管理については、「グループ会社管理要領」により、承認・報告事項を定め、事業子会社経営の管理を行っております。

■②内部統制システムの整備の状況

当社グループの内部統制システムの整備状況にあたっては、経営リスクマネジメントに関する基本方針を定め、事業子会社の運営に影響を及ぼすおそれのある様々なリスクへの適切な対応を行い、経営基盤の安定化を図るとともに、万が一、経営リスクが発生した場合の影響を極小化し、当社グループの損失及び社会的損失をできる限り発生させないよう取り組んでおります。

さらに、コンプライアンスの重要性を認識し、コンプライアンス委員会を設置し、「トナミグループ社員行動規範」に基づき、トナミホールディングスグループ事業子会社の役員社員に企業倫理と法令遵守を浸透させるため推進担当者を選任し、コンプライアンスに関わる教育説明会を実施しております。

また、企業活動において、あらかじめ違反行為が起り得る可能性を抽出し、未然防止を図るよう推進状況を報告させ、違反行為が発生した場合は早期に解決し、再発防止を講ずるコンプライアンス体制を構築しております。

なお、取締役会が決定した基本方針に基づき、速やかな業務執行に努めており、経営に関する法令遵守事項などについては、必要に応じて公認会計士や弁護士などの専門家から助言を受け参考としております。

そして、「グループ運営規程」を基礎として、グループ事業子会社各社で諸規程を定め、「グループ会社管理要領」により承認・報告事項を定め、事業子会社の経営管理を行うことにより、経営環境の変化に速やかに対応する体制を整え、経営の健全化に努めております。

また、業務執行が適切で効率よく行われているかについては、監査室による内部監査を実施し、監査役及び取締役会に報告を行っております。

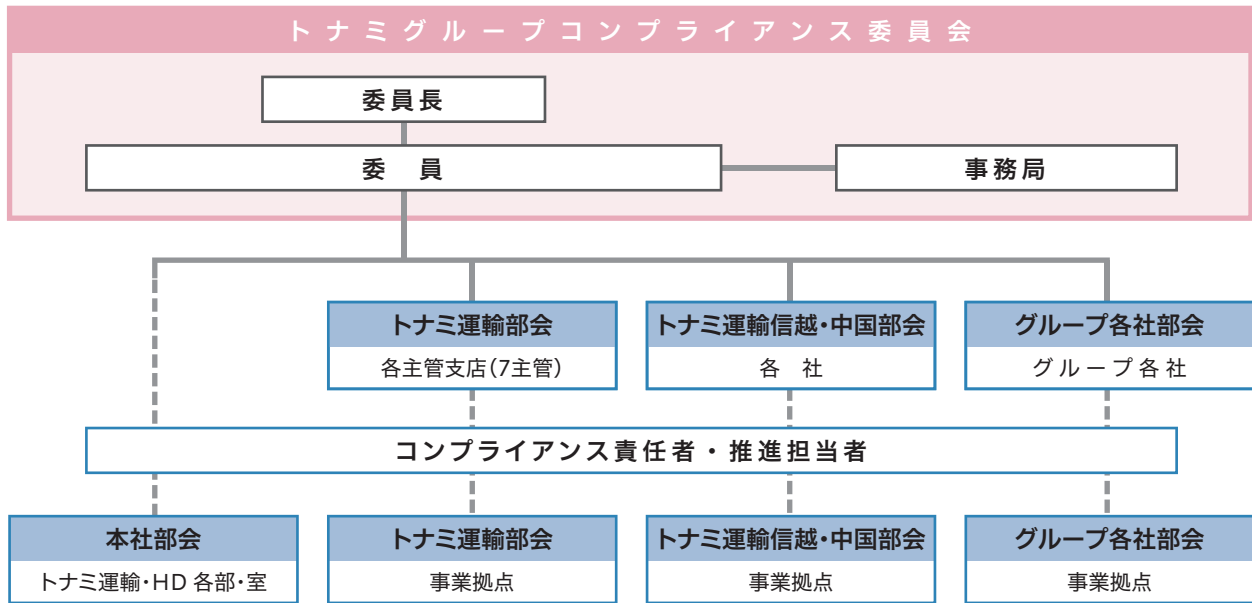
反社会的勢力に対しては、毅然とした態度で臨み、一切の関係を持たないこととしております。また、不当要求などの介入に対しては、警察などの外部専門機関との緊密な提携のもと、関係部署が連携・協力して組織的に対応し、利益の供与は絶対に行わないこととしております。

コンプライアンス体制の整備

当社グループは、遵法及び倫理の観点から、役員・社員が心がけるべき基本事項を、「トナミグループ社員行動規範」として定めています。2015年6月には法務部を設置し、法的リスクへの適切かつ機動的な対応を強化しました。

コーポレートガバナンス体制の一環としてコンプライアンス委員会、その傘下に事業子会社のコンプライアンス部会を設置しています。

■トナミグループコンプライアンス組織図



トナミグループ社員行動規範



- ① お客様に、常に安全・確実・迅速な物流サービスを提供します。
- ② 地球環境を守るために、物流サービスのあらゆる段階において環境負荷低減に努めます。
- ③ 輸送活動にあたって、法・社会倫理・社内規定を遵守します。
- ④ 公正な企業活動をしします。
- ⑤ 整理・整頓を心がけ、清潔を保って快適な作業環境を維持します。
- ⑥ 基本的人権を尊重し、良好な職場環境を維持します。
- ⑦ 企業情報・得意先情報・個人情報の保護に細心の注意を払います。
- ⑧ 得意先の価値創造に役立つコンセプトを構想、提案します。
- ⑨ コンピュータ・ネットワークの不正な利用、業務目的以外の使用をしません。

コンプライアンス教育の取り組み

2018年度のコンプライアンス教育は、重点取り組み課題として社会環境とともに変化する様々なリスクの低減に向け、地域特性や事業環境に合致した情報発信や問題提起を行い、全職種共通テーマと職種別テーマについてコンプライアンス各部会で教育を実施しました。

その教育の実施状況について、各部会から結果報告を求め、コンプライアンス委員会では評価を行い、マネジメントレビューを実施しました。今後とも定期的にPDCAサイクルを回すことによって継続的にコンプライアンス意識の向上を図ります。

リスク管理体制の整備

当社グループは、経営リスクマネジメント方針を定め、社長を最高責任者とする経営リスク管理委員会を設置し、事業運営に影響を及ぼす様々なリスクに対応するために

■経営リスクマネジメント方針

トナミホールディングスグループは、自然災害、事故などの人為的災害、及び経営上の様々なリスクに的確に対処し、

■経営リスクマネジメント行動指針

- ① 経営リスクマネジメントに関する計画を策定し、実施する。
- ② 当社の役員及び従業員等及び関係者の安全・健康を確保する。
- ③ 当社の資産の保全を図る。

「トナミホールディングスグループ経営リスクマネジメント管理規程」を制定しています。

経営目標の達成を阻害するすべての要因を可能な限り防止し、排除することにより、社会的責任を果たす。

- ④ 経営リスクが顕在化した場合には、責任ある行動をとる。
- ⑤ 被害が発生した場合には、速やかな回復を図る。
- ⑥ 経営リスクに関連する社会的要請を当社の経営リスクマネジメントシステムに反映する。

ISMS認証取得

当社グループは、お客様の個人情報や情報資産の管理強化、サービスの安全性・信頼性の一層の向上を図るため、情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) 認証取得を奨励しています。トナミ運輸は、2007年3月及び2012年

6月、KSRは2009年8月にISMSの認証を取得しました。



ISO/IEC 27001:2013 / JIS Q 27001:2014認証取得済
上記は、インターネットプロバイダ業務及びデータセンター運用サービスのものです。



ISO27001 認定証

公益通報者保護法への対応

当社は、グループ会社も含めた「トナミホールディングスグループ社内通報規程」を制定しています。監査室を通報・

相談窓口として、①通報者の保護、②グループ内に潜むリスクの早期発見、③不正通報の濫用の抑止などに努めています。

個人情報保護の取り組み

当社グループは、2005年4月の個人情報保護法の施行に伴い、個人情報の適切な利用と保護のための実践遵守基準を明確にした「個人情報保護コンプライアンスプログラム」を制定しています。お客様や取引先の個人情報の利用目的の適正利用を原則として、細心の注意をもって、責任ある取り扱いに努めています。また、2016年1月からのマイナンバー制度の本格的な運用開始に向けて、当社グループは、「特定個人情報の適正な取扱いに関する方針」及び「特定個人情報等

取扱規定」を作成し、マイナンバーをはじめとする特定個人情報の管理について、必要かつ適切な安全管理措置を行う体制を確立しました。今後も特定個人情報を取り扱う事務従事者への教育を実施し、特定個人情報が適切に管理運用されるよう徹底してまいります。

トナミホールディングスは、プライバシーポリシーをホームページ上で公開しています。
<http://www.tonamiholdings.co.jp/privacy/>

純粋持株会社

●トナミホールディングス株式会社	富山県高岡市昭和町3-2-12	http://www.tonamiholdings.co.jp/
------------------	-----------------	---

物流事業グループ会社

●トナミ運輸株式会社	富山県高岡市昭和町3-2-12	http://www.tonami.co.jp/
●トナミ運輸信越株式会社	新潟県新潟市西区北場1087-1	http://www.tonami-shinetsu.co.jp/
●トナミ運輸中国株式会社	広島県広島市西区草津港3-2-1	http://www.tonami-chugoku.co.jp/
●京神倉庫株式会社	京都府京都市下京区和気町21-1	http://www.keishin-soko.co.jp/
●トナミ国際物流株式会社	神奈川県横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル7階	http://www.tglc.co.jp/
●北関東トナミ運輸株式会社	埼玉県熊谷市新堀1054-4 2階	http://www.k-tnm.co.jp/
●株式会社テイクワン	埼玉県川口市新堀988	http://www.teikuwan.co.jp/
●株式会社ケーワイケー	千葉県柏市藤ヶ谷676-1	http://www.kyk-gr.com/
●関東トナミ運輸株式会社	東京都中央区日本橋横山町4-5 福田ビル5階	http://www.kanto-tonami.co.jp/
●トナミ首都圏物流株式会社	神奈川県海老名市本郷1675	http://www.tonami-shutoken.co.jp/
●新潟トナミ運輸株式会社	新潟県新潟市西区北場1087-1	http://www.niigata-tonami.co.jp/
●北陸トナミ運輸株式会社	富山県高岡市上四屋4-42	http://www.hokuriku-tonami.co.jp/
●石川トナミ運輸株式会社	石川県白山市平松町158-1	http://ishikawa-tonami.co.jp/
●福井トナミ運輸株式会社	福井県敦賀市羽織町13-3	http://f-tonami.co.jp/
●阿南自動車株式会社	長野県諏訪市中洲5502-18	http://www.anan-tp.co.jp/
●トナミ第一倉庫物流株式会社	愛知県名古屋市中区砂美町128	http://www.tdwl.co.jp/
●トナミ近畿物流株式会社	大阪府松原市天美北4-1-8	http://www.tkb1073.co.jp/
●中央冷蔵株式会社	広島県広島市西区草津港1-7-7	http://www.churei.com/

関連事業グループ会社

●トナミビジネスサービス株式会社	東京都中央区日本橋堀留町2-8-4 日本橋コアビル7階	
●東洋ゴム北陸販売株式会社	富山県富山市呉羽町7271-1	http://www.toyo-hokuriku.co.jp/
●トナミ商事株式会社	富山県高岡市昭和町1-2-10	http://www.tonami-shoji.co.jp/
●KSR株式会社	京都府京都市下京区中堂寺壬生川町20-2	http://www.ksr-jp.com/

海外現地法人

●托納美物流(大連)有限公司	中国遼寧省大連市保稅区南港路18-2号B棟701	
●TONAMI (THAILAND) Co.,Ltd.	No.32 J.B.Building 7th Floor, Vibhavadi Rangsit Road,Jompol, Jatujak,Bangkok 10900 Thailand	http://www.thaitonami.com/
●MAHAPORN TRANSPORT Co.,Ltd.	205/10 Moo 3 Laemchabang Industrial Estate, Thungsukla, Sriraca, Chonburi 20230, Thailand	http://www.thaitonami.com/ja/mahaporn.html
●H&R Forwarding Co., Ltd.	No.32 J.B.Building 7th Floor, Vibhavadi Rangsit Road,Jompol, Jatujak,Bangkok 10900 Thailand	http://www.thaitonami.com/ja/har.html

関連会社及び関係先

●北海道トナミ運輸株式会社	北海道札幌市白石区川北2246-1	http://h-tonami.jp/
●ジャパン・トランズ・ライン株式会社	東京都江東区東雲1-7-30(第一貨物(株)東京支店内)	
●株式会社ジェスコ	富山県富山市婦中町広田3978	http://www.jessco.co.jp/
●高岡ケーブルネットワーク株式会社	富山県高岡市昭和町1-2-10	http://www.tcnet.ne.jp/
●高岡通運株式会社	富山県高岡市能町1935	http://ch-sense.com/takatuu/
●アルハイテック株式会社	富山県高岡市オフィスパーク1	http://alhytec.co.jp/
●東砺運輸株式会社	愛知県名古屋市中区浮野町75	

トナミホールディングス株式会社

〒933-8788 富山県高岡市昭和町3-2-12

TEL(0766)32-1073 FAX(0766)32-1077

<http://www.tonamiholdings.co.jp/> (本報告書はホームページでもご覧頂くことができます。)

